

Speed Wi-Fi HOME L02

User Guide 取扱説明書 詳細版

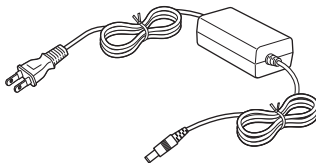
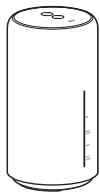


ごあいさつ

このたびは、Speed Wi-Fi HOME L02(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、『取扱説明書 詳細版』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



● Speed Wi-Fi HOME L02本体

● Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ(HWS31PJA)

● Ethernetケーブル(試供品)

- 保証書(本体)
- Wi-Fi初期設定シール
- はじめてガイド
- ご利用にあたっての注意事項
- ACアダプタ取扱説明書/保証書



- ◎ 保証書を含め付属品は大切に保管してください。
- ◎ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

本製品の取扱説明書として、同梱の『はじめてガイド』および『ご利用にあたっての注意事項』、auホームページで提供の『取扱説明書 詳細版』(本書)をご用意しております。また、本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

■ はじめてガイド

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■ 取扱説明書 詳細版(本書)

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』(本書)は、auホームページでご確認できます。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



- ・『取扱説明書 詳細版』(本書)のPDFファイルは、本製品内にも保存されています。
本製品とパソコンなどを無線LAN(Wi-Fi[®])またはEthernetケーブル(試供品)で接続→Webブラウザを起動→アドレス入力欄に「<http://speedwifi.home>」と入力→ログイン(▶P.39)→「ヘルプ」→「取扱説明書を表示」

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of "Quick start guide" and "Notes on usage" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『はじめてガイド(英語版)』および『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の記載方法について

本書はau Nano IC Card 04 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法で記載しています。

本書に記載されているイラストや画面は、実際の製品とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



- ◎ 本書は、お客様がWindows/Macなどのパソコン、またはスマートフォンなどの基本操作に習熟されていることを前提に記載しています。パソコンやスマートフォンなどの操作については、お使いのパソコンまたはスマートフォンなどの取扱説明書を参照してください。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card 04 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の記載方法について	1
目次	2
注意事項	3
本製品のご利用について	4
安全上のご注意(必ずお守りください)	4
材質一覧	6
取り扱い上のご注意	7
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	8
2.4GHz帯ご使用上の注意	8
5GHz帯ご使用上の注意	8
PINコードについて	8
データ通信料についてのご注意	8
ご利用の準備	9
ご利用になる前に	10
各部の名称と機能	10
LED表示とボタン操作	11
au ICカードについて	12
au ICカードが挿入されていない場合	12
au ICカードを取り付ける／取り外す	12
電源を入れる／切る	13
電源を入れる	13
電源を切る	13
工場出荷状態に戻す(リセット)	13
本製品の使いかた	14
本製品の便利な機能	14
動作環境	15
[HUAWEI HiLink]アプリを利用する	16
無線LAN(Wi-Fi®)接続／LAN接続	17
無線LAN(Wi-Fi®)で接続する	18
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	18
SSIDについて	18
5GHz帯の使用について	18
WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する	19
Wi-Fi設定お引越し機能を利用して接続する	20
スマートフォンを接続する	21
[HUAWEI HiLink]アプリを利用してスマートフォンと接続する	21
手動設定で接続する	22
iPhone／iPad touch／iPad／iPad mini／iPad Proを接続する	23
QRコード表示機能を利用して接続する	23
手動設定で接続する	24
Windows/パソコンを接続する	26
Macを接続する	30
Nintendo Switchを接続する	30
ニンテンドー3DS LL／3DSを接続する	31
PlayStation®Vitaを接続する	32
PlayStation®4を接続する	33
LAN接続する	34
Windows/パソコンにLAN接続する	34
Windows/パソコンに取り付ける	34
Windows/パソコンから取り外す	34
MacにLAN接続する	34
Macに取り付ける	34
Macから取り外す	34

インターネット接続	35
インターネットに接続する	36
インターネットへの接続	36
通信モードを切り替える	36
機能設定	37
Speed Wi-Fi HOME設定ツールについて	38
Speed Wi-Fi HOME設定ツールを起動する	38
Speed Wi-Fi HOME設定ツールのトップページ	38
Speed Wi-Fi HOME設定ツールにログインする	39
Speed Wi-Fi HOME設定ツールの各種設定・接続情報画面	39
インターネットや無線LAN(Wi-Fi®)の情報を確認する(接続)	40
接続ステータス	40
情報	40
各種機能の詳細設定をする(設定)	40
WAN設定	41
基本設定	41
通信モード自動切替	41
接続設定	42
プロファイル設定	42
PINコード管理	43
通信量カウンター	44
LAN設定	45
基本設定	45
セキュリティ設定(2.4GHz／5GHz)	46
ゲストSSID設定	48
WPS設定	49
MACアドレスフィルタ	49
セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)	50
ファイアウォールスイッチ	50
DHCP設定	50
LAN IPフィルタ	51
ポートマッピング	52
特定アプリケーション	53
DMZ設定	54
UPnP設定	54
SIP ALG設定	55
LED設定	55
システム設定	56
バックアップ&リストア	56
オールリセット	56
再起動	57
パスワード変更	57
システムログ	57
オンラインアップデート	58
付録／索引	59
付録	60
ソフトウェアを更新する	60
故障とお考えになる前に	60
アフターサービスについて	61
周辺機器	62
Speed Wi-Fi HOME設定ツール メニュー項目／設定項目一覧	62
主な仕様	65
輸出管理規制	65
用語集	65
知的財産権について	67
商標について	67
個人情報保護方針	67
索引	68

本製品のご利用について	4
安全上のご注意(必ずお守りください)	4
材質一覧	6
取り扱い上のご注意	7
無線LAN(Wi-Fi [®])機能について	8
PINコードについて	8
データ通信料についてのご注意	8

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.4)をお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - ・故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」(▶P.60)で症状をご確認ください。
 - ・通信中は、身体から20センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。
 - ・サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください(ただし、WiMAX 2+方式、LTE方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております)。
 - ・本製品は国内でのご利用を前提としています。国外での使用はできません。
(This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
 - ・本製品は屋内専用です。屋外での使用はできません。
 - ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
 - ・「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
 - ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品は、WiMAX 2+ネットワーク環境でご使用になりますが、本製品の品質などに関してUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。
 - ・本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- ※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
- 発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
輸入元: 華為技術日本(株)
製造元: HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.



- ◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制的絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ、au ICカード、Ethernetケーブル(試供品)、周辺機器共通

⚠ 危険

⊘ 高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、使用しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、使用しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 電源端子やLAN接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ オプション品は、auが指定したものを使用してください。指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

⊘ 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 電源端子やLAN接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 使用中に布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、やけどなどの原因となります。

⚠ 使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜く。
- ・外部機器の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

⊘ 破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。

⊘ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがなどの原因となります。

⊘ 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

⊘ 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。けがなどの原因となります。

⊘ 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲、けが、感電などの原因となります。

⚠ 本製品を継続して使用される場合は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。継続しての使用は、本製品やSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険

⊘ 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。

⊘ 鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 警告

⊘ 本製品内のNano IC Cardスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、au ICカードの挿入場所や向きを間違えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、本製品を使用しないでください。電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

⚠ 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

⚠ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠ ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

⚠ 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.6)を参照してください。

■ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタについて

⚠ 警告

⊘ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

⊘ 雷が鳴り出したら、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタには触れないでください。感電などの原因となります。

⊘ コンセントにつないだ状態でDCプラグをショートさせないでください。また、DCプラグに手や指など、身体の一部に触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

⊘ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

⊘ コンセントに電源プラグを抜き差しするときは、金属製アクセサリなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

⊘ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。発火、発熱、感電などの原因となります。

⊘ 本製品にSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⊘ 濡れた手でSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタのコードやDCプラグ、電源プラグに触れないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 指定の電源、電圧で使用してください。誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

⚠ 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 電源プラグをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 電源プラグをコンセントから抜く場合は、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタの電源プラグを持って抜いてください。Speed Wi-Fi HOME ACアダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 本製品にSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタのコネクタが曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。電源端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 使用しない場合は、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

コンセントにつないだ状態でSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

Speed Wi-Fi HOME ACアダプタの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.6)を参照してください。

■ Ethernetケーブル(試供品)について

⚠ 警告

ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、ケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。

本製品やパソコンなどにつないだ状態で端子をショートさせないでください。また、端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品やパソコンなどにケーブルを抜き差しするときは、金属製アクセサリなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品やパソコンなどにケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れた手でケーブルや端子に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

端子についたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

ケーブルを本製品やパソコンなどに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

ケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

コネクタが曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
LAN接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、ケーブルを本製品やパソコンなどから抜いてください。
ケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちに本製品やパソコンなどからケーブルを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、ケーブルを本製品やパソコンなどから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

Ethernetケーブル(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.6)を参照してください。

■ au ICカードについて

⚠ 注意

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(電源オフ)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

	使用箇所	使用材質＜表面処理＞
本体	上カバー	PC+ABS樹脂
	外装ケース	PC+ABS樹脂
	ブラケット	PC+ABS樹脂
	ライトガイド	PC樹脂
	ボタン	PC+ABS樹脂
	下カバー	PC+ABS樹脂
	ゴム足	シリコンゴム
	Nano IC Cardスロットカバー	外側:PC+ABS樹脂 内側:TPU樹脂
Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ	電源ケーブル	PVC
	電源プラグ(樹脂部)	PVC
	電源プラグ(シールド部)	黄銅<ニッケルメッキ>、PBT
	プラグキャップ	PE
	DCケーブル	PVC
	DCプラグ(樹脂部)	PVC
	DCプラグ(シールド部)	黄銅<ニッケルメッキ>、PBT

	使用箇所	使用材質＜表面処理＞
Ethernet ケーブル (試供品)	ケーブル	PVC樹脂
	端子(樹脂部)	PVC樹脂(白い部分)+PC樹脂(透明部分)
	端子(金属部)	銅<金メッキ>

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ、au ICカード、Ethernetケーブル(試供品)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。
また、ケーブルを電源端子やLAN接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください(周囲温度0℃～40℃、湿度5%～90%の範囲内でご使用ください)。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 電源端子やLAN接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて端子を变形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、本体に傷がつく場合があります。本体に水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ずSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタをご使用ください。Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 電源端子やLAN接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- 使用中に濡れた場合には直ちにSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタの電源プラグを抜いてください。
- 布団などで覆われた状態での使用は故障の原因となります。
- Speed Wi-Fi HOME ACアダプタやパソコンと接続するときは、接続する端子に対してプラグのコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を使用する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃を与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品底面に貼ってあるIMEIの印刷されたラベル内に表示された「技術マーク㊿」は、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明など、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定などを受けており、その証として、「技術マーク㊿」が本製品底面のラベルに表示されています。
本製品本体の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- 通常はNano IC Cardスロットカバーを閉めた状態で使用してください。Nano IC Cardスロットカバーを開けずにご使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のNano IC Cardスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタについて

- Speed Wi-Fi HOME ACアダプタのコードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタのプラグとコードの接続部を無理に曲げないでください。アダプタやコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- Speed Wi-Fi HOME ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- 異常が発生した場合に直ちに電源を切れるように、Speed Wi-Fi HOME ACアダプタは、電源プラグを容易に取り外せる場所にあるコンセントに接続してください。

■ Ethernetケーブル(試供品)について

- ケーブルのプラグと本製品やパソコンなどの接続部を無理に曲げないでください。また、ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品やパソコンなどから抜くときは、プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気、故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したります場合があります。

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- ・本製品はすべての無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ・無線通信時のセキュリティとして、無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2.4DS/OF4

IEEE802.11b/g/n

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております(本製品は屋内専用です)。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52(5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch)

W53(5.3GHz帯/52, 56, 60, 64ch)

W56(5.6GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

IEEE802.11a/n/ac

W52 W53 W56

PINコードについて

■ PINコード

- 第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力が必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
- PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
 - ※ お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は無効(入力不要)に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は有効(入力必要)に変更できます。入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。
 - ※ PINコードは本製品のリセットを行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

- PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
 - ※ PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
 - ※ PINロック解除コードを入力した場合は、「PINコード管理」(▶P.43)で新しくPINコードを設定してください。
 - ※ PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

データ通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- ・本製品で各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

ご利用になる前に.....	10
各部の名称と機能.....	10
LED表示とボタン操作.....	11
au ICカードについて.....	12
電源を入れる／切る.....	13
工場出荷状態に戻す(リセット).....	13
本製品の使いかた.....	14
本製品の便利な機能.....	14
動作環境.....	15
「HUAWEI HiLink」アプリを利用する.....	16

ご利用になる前に

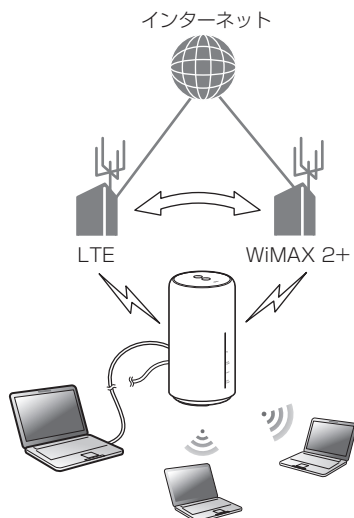
本製品はWiMAX 2+方式、LTE方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は、以下の通信モードを選択できます。

・各通信モードの選択、設定方法については、「WAN設定」の「基本設定」(▶P.41)を参照してください。

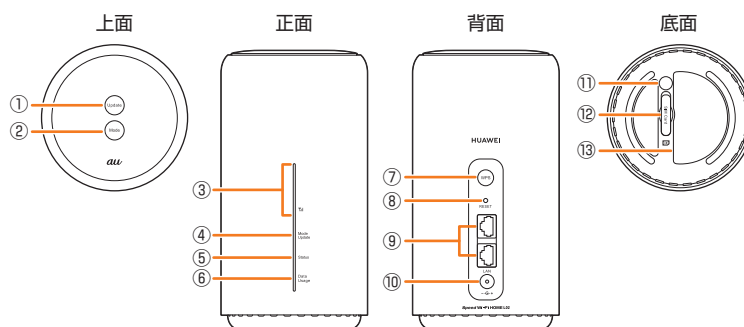
	WiMAX 2+	LTE
ハイスピード	○	—
ハイスピードプラスエリア	○	○

※ ご契約の料金プランにより各通信モードの月間データ容量は異なります。

※ お買い上げ時は「ハイスピード」に設定されています。「ハイスピードプラスエリア」に切り替えると、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますので、ご注意ください。



各部の名称と機能

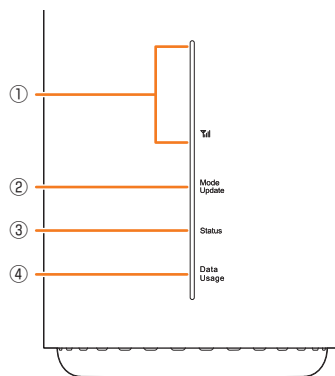


- | | |
|--|--|
| <p>① Updateボタン
ソフトウェアのアップデートを開始するときに使用します。</p> <p>② Modeボタン
通信モードを切り替えます。</p> <p>③ Wi-Fi/LTEランプ
WiMAX 2+方式、LTE方式の受信電波の強弱を表示します。</p> <p>④ Mode/Updateランプ
通信モードや、ソフトウェアのアップデートの通知を表示します。</p> <p>⑤ Statusランプ
本製品の状態を表示します。</p> <p>⑥ Data Usageランプ
設定したデータ通信量を超えるとお知らせします。</p> <p>⑦ WPSボタン
WPS機能対応機器と無線LAN(Wi-Fi®)接続するときに使用します。</p> | <p>⑧ RESETボタン
設定内容を工場出荷時の状態に戻します。</p> <p>⑨ LAN接続端子
パソコンなどをEthernetケーブル(試供品)で接続します。</p> <p>⑩ 電源端子
Speed Wi-Fi HOME ACアダプタを接続します。</p> <p>⑪ WARRANTY SEAL
このシールをはがすと、無償修理保証の対象外になります。はがさないでください。</p> <p>⑫ Nano IC Cardスロット
au ICカードを取り付けます(▶P.12)。</p> <p>⑬ ラベル
SSIDや暗号化キー(パスワード)、IMEIなどを確認できます。はがさないでください。</p> |
|--|--|

LED表示とボタン操作

本製品は、LEDランプの点灯色と点灯パターンによって本製品の状態をお知らせします。また、ボタン操作で通信モードの切り替え、ソフトウェアの更新などを行います。

- LEDランプの点灯時間は変更できます(▶P.55)。



① ランプ

● (消灯)	圏外、au ICカード未挿入
● (緑色で点灯)	LTE/WiMAX 2+接続中(受信レベル1~4)

② Mode/Updateランプ

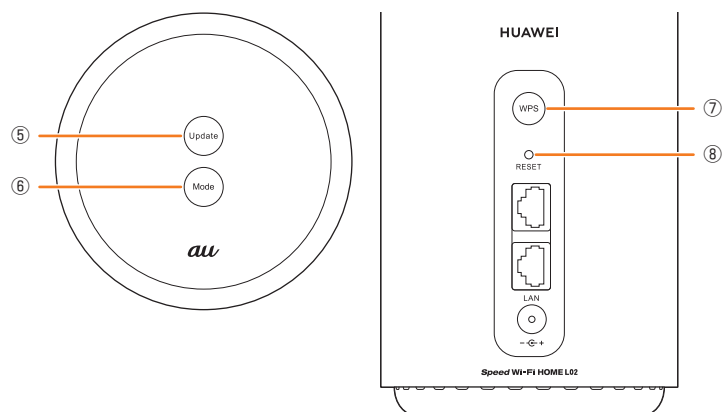
● (緑色で点灯)	ハイスピードモード
● (黄色で点灯)	ハイスピードプラスエリアモード ※ハイスピードプラスエリアモードに切り替えると、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。
●●●●● (黄色で点滅し続ける)	通信モード自動切替がオンの状態 ※ハイスピードプラスエリアモードに切り替えると、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。
●●●●● (黄色で3回だけ点滅)	通信モードの切り替えエラー ※3回だけ点滅後に、元の通信モードのランプ表示に戻ります。 ※ハイスピードプラスエリアモード規制(▶P.41)をオンにしている場合、ハイスピードプラスエリアモードに切り替えようとするこのランプ表示になります。
●●●●● (赤色で点滅し続ける)	ソフトウェアの更新(アップデート)あり
●●●●● (赤色で点滅し続ける)	ソフトウェアの更新(アップデート)中
●●●●● (赤色で3回だけ点滅)	ソフトウェアの更新(アップデート)実行時にソフトウェアのダウンロードに失敗 ※3回だけ点滅後に、元の通信モードのランプ表示に戻ります。

③ Statusランプ

● (消灯)	電源オフ
● (緑色で点灯)	電源オン→WANのIPアドレス取得→正常接続
●●●●● (緑色で点滅し続ける)	Wi-Fi設定お引越し実行中
●●●●● (緑色で点滅し続ける)	WPS接続(2.4GHz帯/5GHz帯)実行中
● (黄色で点灯)	システム起動/WANに接続
●●●●● (赤色で点滅し続ける)	au ICカード未挿入/au ICカード異常/PINロック状態/APN設定エラーなどによる接続エラー
● (赤で点灯)	圏外による接続エラー

④ Data Usageランプ

● (点灯)	設定したデータ通信量を超えていない状態
● (点灯)	設定したデータ通信量を超えた状態



⑤ Updateボタン

約1秒以上押す	新しいソフトウェアがある場合、アップデートを開始します(▶P.58, 60)。
---------	---

⑥ Modeボタン

約2秒以上押す	通信モードを切り替えます。 ※ハイスピードプラスエリアモードに切り替えると、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。
---------	--

⑦ WPSボタン

約1秒以上押す	無線LAN(Wi-Fi®)端末にWPS接続(2.4GHz/5GHz)します。 WPS接続実行中に再度WPSボタンを約1秒以上押すと、WPS接続を停止します。
---------	---

⑧RESETボタン

約2秒以上押す

設定内容を工場出荷時の状態に戻します。
本製品の電源を入れた状態で、RESETボタンを先の細いもので押してください。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

- ・本製品はau Nano IC Card 04 LEに対応しております。

au Nano IC Card 04 LE
(表面) (裏面)



IC(金属)部分

memo

- ◎ au ICカードには、お客様の情報として電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発信などは行えません。
- ◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- ・ データ通信(インターネットへの接続)
- ・ PINコード設定
- ・ 本製品の電話番号の確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

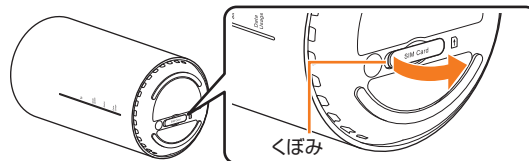
au ICカードを取り付ける／取り外す

au ICカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。電源を切らずに取り付けを行った場合、au ICカードが本製品に認識されませんのでご注意ください。

■ au ICカードを取り付ける

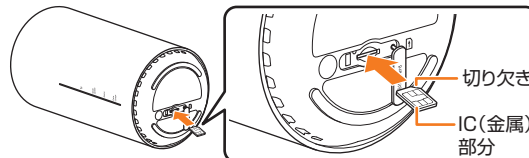
1 Nano IC Cardスロットカバーを開く

カバーの横のくぼみに指(爪)をかけ、図に示す矢印の方向に引きます。



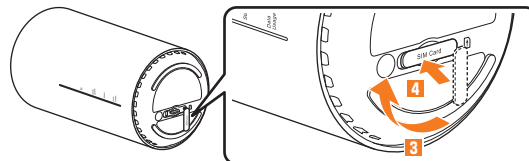
2 au ICカードをNano IC Cardスロットに差し込む

IC(金属)面を上にして、図に示す切り欠き部分で方向を確認してから、カチッと音がするまで押し込みます。



3 Nano IC CardスロットカバーをNano IC Cardスロットの位置に合わせる

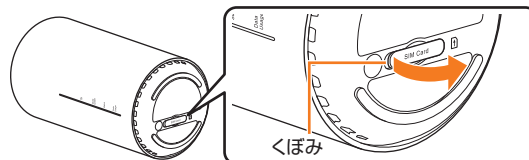
4 Nano IC Cardスロットカバーを軽く押す



■ au ICカードを取り外す

1 Nano IC Cardスロットカバーを開く

カバーの横のくぼみに指(爪)をかけ、図に示す矢印の方向に引きます。



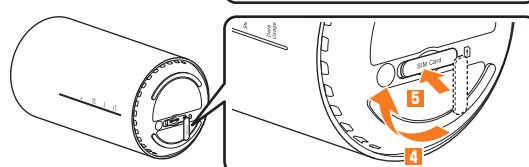
2 au ICカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、au ICカードに指を添えたまま手前に戻してください。
・ 強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



3 au ICカードをまっすぐにゆっくり引き抜く

・ ロックされている状態から無理に引き抜かないように注意してください。



4 Nano IC CardスロットカバーをNano IC Cardスロットの位置に合わせる

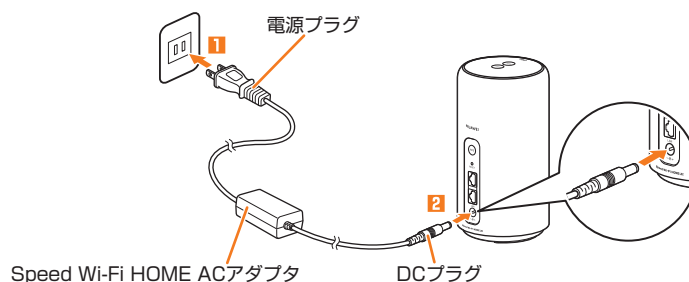
5 Nano IC Cardスロットカバーを軽く押す

電源を入れる／切る

本製品には電源ボタンがありません。電源を入れるときはSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタを本製品に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

電源を入れる

1 Speed Wi-Fi HOME ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



2 本製品の電源端子にSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタのDCプラグを接続する

奥までまっすぐにしっかり差し込んでください。

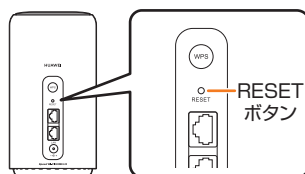
電源を切る

1 本製品からSpeed Wi-Fi HOME ACアダプタのDCプラグをまっすぐ引き抜く

2 Speed Wi-Fi HOME ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

工場出荷状態に戻す(リセット)

本製品の電源を入れた状態で、RESETボタンを先の細いもので約2秒以上押しと、工場出荷時の状態にリセットされます。



- Speed Wi-Fi HOME設定ツールの「オールリセット」(▶P.56)でも工場出荷時の状態に戻ります。

memo

◎ 本製品をリセットするとご購入後に設定した内容は削除されます(PINコード管理の設定内容をのぞく)。十分ご注意のうえ本機能をご利用ください。また万一の場合に備え、あらかじめ設定内容をパソコンに保存することも可能です。詳しくは、「バックアップ&リストア」(▶P.56)を参照してください。

本製品の使いかた

本製品は、無線LAN(Wi-Fi®)機能によりパソコンやスマートフォンなどの複数の無線LAN(Wi-Fi®)端末と接続したり、付属のEthernetケーブル(試供品)でパソコンなどと接続したりできます。さらに、接続した端末から本製品を経由してWiMAX 2+方式やLTE方式を使ったインターネット接続によるデータ通信(ベストエフォート方式®)ができます。

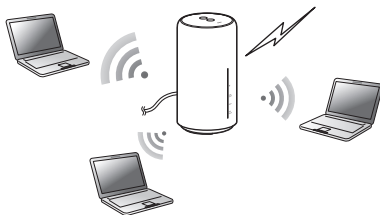
※：接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

■ 無線LAN(Wi-Fi®)で接続する

本製品とパソコンやスマートフォンなどの無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続し、データ通信を行います。

本製品は無線LAN(Wi-Fi®)端末を同時に最大40台(2.4GHz帯／5GHz帯で各20台)まで接続することができます。

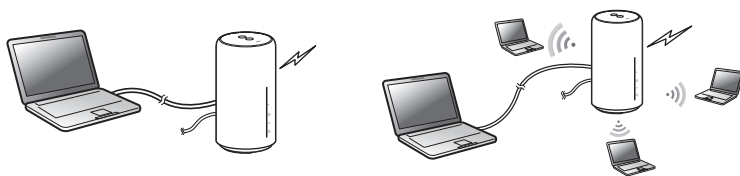
- ・「無線LAN(Wi-Fi®)で接続する」(▶P.18)
- ・「Speed Wi-Fi HOME設定ツールについて」(▶P.38)



■ Ethernetケーブル(試供品)で接続する

本製品とパソコンをEthernetケーブル(試供品)で接続し、データ通信を行います。

- ・「Windows/パソコンにLAN接続する」(▶P.34)
- ・「MacにLAN接続する」(▶P.34)



memo

- ◎ 電波受信状況やアクセス集中、コンテンツの容量などによっては、正常な通信が行えない場合があります。また、接続機器やゲームなどによっては通信や通信対戦プレイなどが正常に動作しない場合があります。
- ◎ ネットワークへの接続は、その時点で快適に使えるネットワークを自動的に判別して接続します。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続とLAN接続を同時に利用することもできます。合わせて最大42台まで接続できます。
- ◎ 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

本製品の便利な機能

■ 通信モード自動切替

ハイスピードプラスエリアモードでの通信中に設定したデータ量になると、ハイスピードプラスエリアモードからハイスピードモードへ自動的に切り替えることができます(▶P.41)。

- ・ 通信モードを「ハイスピード」に設定しているときに通信モード自動切替をオンにすると、「ハイスピードプラスエリア」に切り替わります。お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

■ 通信量カウンター

ご利用になったデータ量を通信モードごとに確認できます(▶P.44)。また、本機能で設定したデータ通信量を超えるとData Usageランプでお知らせします。

- ・ 通信量カウンターは端末本体でカウントしているため、カウントするデータ通信量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なります。

■ 「HUAWEI HiLink」アプリ

スマートフォンに「HUAWEI HiLink」アプリをインストールすると、アプリでQRコードを読み取るだけで本製品と接続することができます。本製品と接続後に管理者としてログインすると、スマートフォンから本製品の状態を確認したり、一部の機能の設定を行ったりすることができます(▶P.16)。

- ・ 右のQRコードから「HUAWEI HiLink」アプリをダウンロードできます。
- ・ すでに「HUAWEI HiLink」アプリをご利用中のお客様は、最新バージョンに更新のうえ、ご利用ください。



■ ベストポジション

本製品を設置する場所のより詳細な電波の強さを「HUAWEI HiLink」アプリの「ベストポジション」で確認できます(▶P.16)。

- ・ 電波の強い場所に設置すると、通信速度の向上が期待できます。
- ・ 電波を受信しやすい窓の近くに設置することをおすすめします。部屋の隅や床に直接置くと、電波の受信状態が悪くなる場合があります。
- ・ 金属製のテーブルなどの上に置かないでください。電波の受信に悪影響を及ぼす可能性があります。

■ Wi-Fi設定お引越し機能

これまで利用していたWi-Fiルーターの設定を本製品に引き継ぐことができます。無線LAN(Wi-Fi®)端末側の設定を変える必要がなく、かんたんに接続できます(▶P.20)。

■ 5GHz優先機能

5GHzの電波レベルが良いときは、2.4GHz帯よりも電波干渉による通信品質の低下が発生しにくい5GHz帯へ自動的に切り替えることができます(▶P.47)。

動作環境

本製品との無線LAN(Wi-Fi®)接続／LAN接続が可能な動作環境は下記の通りです(2018年11月現在)。

■ 対応機器

パソコン、iPhone、iPod touch、iPad、iPad mini、iPad Pro、スマートフォン、ゲーム機など、IEEE802.11a/b/g/n/acの無線LAN(Wi-Fi®)規格に対応する機器
LANポートを備えたWindows/Macなどのパソコン

■ 対応OS(パソコン)

Windows 7(32ビット/64ビット)
Windows 8.1(32ビット/64ビット)
Windows 10(32ビット/64ビット)
Mac OS X 10.9(64ビット)
Mac OS X 10.10(64ビット)
Mac OS X 10.11(64ビット)
macOS Sierra 10.12(64ビット)
macOS High Sierra 10.13(64ビット)
macOS Mojave 10.14(64ビット)
上記OSの日本語版/英語版に対応しております。

■ メモリ

Windows 7：1GB以上必要(32ビット) 2GB以上必要(64ビット)
Windows 8.1：2GB以上必要
Windows 10：1GB以上必要(32ビット) 2GB以上必要(64ビット)
Mac：推奨512MB以上(256MB以上必要)

■ ハードディスク

推奨100MB以上(50MB以上の空き容量が必要)
Windows 8.1：2GB以上の空き容量が必要
Windows 10：16GB以上の空き容量が必要(32ビット) 20GB以上の空き容量が必要(64ビット)

■ 画面解像度

推奨1024×768以上

■ LANポート

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T

■ 対応ブラウザ(Speed Wi-Fi HOME設定ツール対応)

Microsoft Internet Explorer 8.0～11.0
Microsoft Edge
Safari 10.0～12.0
Firefox 24.0～55
Chrome 41～69
Opera 41～55
iOS 8.0～12標準ブラウザ
Android 4.1、4.2、4.3、4.4、5.0、5.1、6.0、7.0、7.1、8.0、8.1、9.0標準ブラウザ/Chrome

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。また、プロキシの設定、インターネットオプションのセキュリティ設定など、Webブラウザの設定によっては正常に動作しない場合があります。



- ◎ パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンの取扱説明書などをお読みのうえ、各メーカーの定める手順に従ってください。
- ◎ 本製品がサポートしているVPNの種類はIPsec、PPTP、L2TPです。

「HUAWEI HiLink」アプリを利用する

1 「HUAWEI HiLink」アプリをスマートフォンにインストールし、本製品と接続する(▶P.21、P.23)

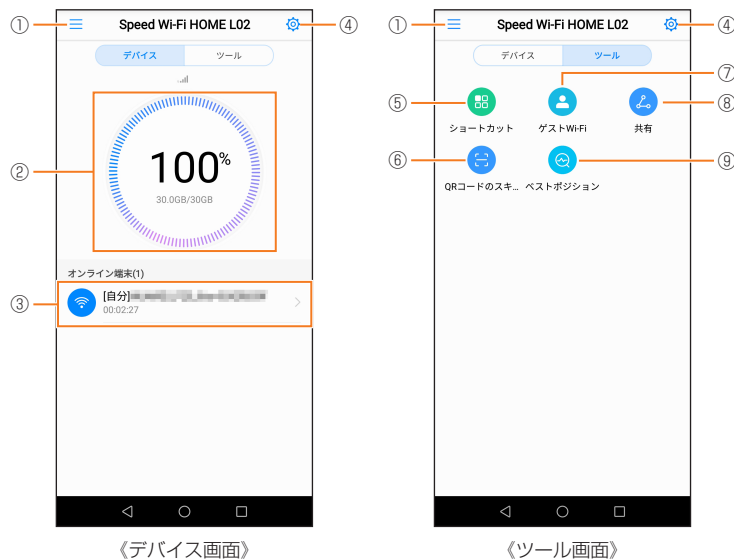
接続に成功すると、「HUAWEI HiLink」アプリの画面に管理者としてログインするようメッセージが表示されます。

2 「ログイン」→パスワードを入力してログインする

「Speed Wi-Fi HOME L02へようこそ」画面が表示されます。

3 「設定」→画面の指示に従って設定する

デバイス画面が表示されます。



① メニューアイコン

Speed Wi-Fi HOME設定ツールを起動したり、「HUAWEI HiLink」アプリのバージョンを確認したりできます。

② データ通信量

タップすると、データ通信量の詳細が表示されます。

③ 接続している端末

本製品に接続している端末が一覧表示されます。タップすると、端末の詳細が表示されます。

④ 設定アイコン

通信モードの切り替えやデバイス情報の確認ができます。

⑤ ショートカット

タップすると、「HUAWEI HiLink」アプリで設定できる一部項目が表示されます。

⑥ QRコードのスキャン

本製品に接続するときにWi-Fi接続用のQRコードを読み取ります。

⑦ ゲストWi-Fi

本製品を一時的にゲスト用のWi-Fiアクセスポイントに設定できます。

⑧ 共有

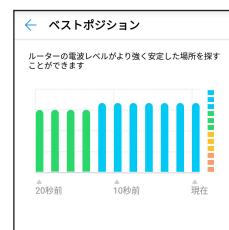
本製品に接続している端末同士でファイルなどを共有できます。

⑨ ベストポジション

より詳細な電波の強さを確認し、本製品を設置する場所の参考にできます。

本製品を設置したい場所に置いて「ベストポジション」を起動すると、約2秒ごとに電波の強さを表示します。

電波の強い場所に設置すると、通信速度の向上が期待できます。



無線LAN(Wi-Fi®)接続／LAN接続

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する	18
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	18
SSIDについて	18
5GHz帯の使用について	18
WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する	19
Wi-Fi設定お引越し機能を利用して接続する	20
スマートフォンを接続する	21
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Proを接続する	23
Windows/パソコンを接続する	26
Macを接続する	30
Nintendo Switchを接続する	30
ニンテンドー3DS LL/3DSを接続する	31
PlayStation®Vitaを接続する	32
PlayStation®4を接続する	33
LAN接続する	34
Windows/パソコンにLAN接続する	34
MacにLAN接続する	34

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する

■ Wi-Fi初期設定シールについて

無線LAN(Wi-Fi®)を利用して、本製品とパソコンやゲーム機などの無線LAN(Wi-Fi®)に対応した機器(以下、無線LAN(Wi-Fi®)端末と表記します)を接続するには、SSID1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の入力が必要となります。^{*1}

お買い上げ時の本製品に設定されているSSID1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱されているWi-Fi初期設定シールに記載されています(工場出荷時設定)。お買い上げ時、および初期化後の本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する場合に必要なとなりますので、大切に保管してください。また、SSID1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は本体の底面でも確認できます。^{*2}

※1: WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する場合は、ネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の入力は不要です。詳しくは、「WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する」(▶P.19)を参照してください。

※2: SSID2のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の確認方法については、「SSID2(WEP)を設定する場合」(▶P.47)を参照してください。

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

本製品はIEEE802.11a/b/g/n/acの無線LAN(Wi-Fi®)規格に準拠しており、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末(パソコンやゲーム機など)を無線LAN(Wi-Fi®)で接続して、データ通信ができます。

また、本製品はWPS(Wi-Fi Protected Setup)機能に対応しており、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末がWPS機能に対応している場合は、少ない操作で無線LAN(Wi-Fi®)接続ができます。

WPS機能に対応していない無線LAN(Wi-Fi®)端末でも、本製品に設定されたSSIDと暗号化キー(パスワード)を入力するだけで簡単に接続することができます。

本製品のSSID1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱のWi-Fi初期設定シール、または本体の底面でも確認できます。SSID2のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の確認方法については、「SSID2(WEP)を設定する場合」(▶P.47)を参照してください。なお、本製品の工場出荷時状態におけるネットワーク名(SSID)は、「SPWH_H33_」で始まる英数字記号で表示されます。お客様が変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線LAN(Wi-Fi®)ネットワークですので接続しないよう注意してください。

ここでは、本製品とWindows/パソコン、Mac、スマートフォン、iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Pro、Nintendo Switch、ニンテンドー3DSシリーズ、PlayStation®Vita、PlayStation®4、WPS対応機器を初めて無線LAN(Wi-Fi®)接続する場合の操作について説明しています。



- 無線LAN(Wi-Fi®)接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi®)端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi®)端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi®)端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
- 無線LAN(Wi-Fi®)端末は無線LAN(Wi-Fi®)接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能なWi-Fiネットワークがあると、自動的にWi-Fiネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能なWi-Fiネットワークが複数ある場合は、最後に設定したWi-Fiネットワークに接続されます。
- 必要に応じて、無線LAN(Wi-Fi®)機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「各種機能の詳細設定をする(設定)」(▶P.40)を参照してください。
- セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名(SSID)および暗号化キー(パスワード)を変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「セキュリティ設定」(▶P.46)を参照してください。
- 本製品は無線LAN(Wi-Fi®)端末を同時に最大40台*まで接続することができます。
※: 2.4GHz帯と5GHz帯を合わせた台数です。
- 本製品は、電源を入れたら自動的にインターネットに接続されます。
- 本製品の「SSID1」「SSID2」のSSIDステルス機能が有効になっていると、無線LAN(Wi-Fi®)端末で本製品を検出できません。SSIDステルス機能については、「セキュリティ設定」(▶P.46)を参照してください。

SSIDについて

本製品はマルチSSID機能に対応し、5つのネットワーク名(SSID)があります。暗号化方式によって使用する「SSID」「WPA Key」「WEP Key」が異なります。

- ネットワーク名(SSID1): 暗号化方式がWPA2/WPAで接続するときに使用します。
2.4GHz帯と5GHz帯のそれぞれに対応したネットワーク名(SSID1)があります。
Speed Wi-Fi HOME設定ツールに無線LAN(Wi-Fi®)で接続するときに使用します。
- 事前共有キー(WPA Key): 暗号化方式がWPA2/WPAで接続するときに使用する暗号化キー(パスワード)です。
- ネットワーク名(SSID2): 暗号化方式がWEPで接続するときに使用します(お買い上げ時は無効になっています)。
2.4GHz帯と5GHz帯のそれぞれに対応したネットワーク名(SSID2)があります。
- WEPキー(WEP Key): 暗号化方式がWEPで接続するときに使用する暗号化キー(パスワード)です。
- ネットワーク名(ゲストSSID): 家を訪ねてきた友人や家族などに、一時的に本製品の利用を許可するときなどに使用します(お買い上げ時は無効になっています)。
暗号化方式はWPA2/WPAまたはWEP、およびNone(セキュリティなし)のいずれかで接続できます。
2.4GHz帯のみ対応しています。

※通信の安全性を高めるためには、暗号化方式をWEPよりもWPA2/WPAで設定することをおすすめします。ただし、一部のゲーム機などではWPA2/WPAで接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、「セキュリティ設定」(▶P.46)を参照してください。

■ SSID2(WEP)について

一部のゲーム機などで、無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ設定が「SSID1(WPA2/WPA)」に対応していない場合は、「SSID2(WEP)」で無線LAN(Wi-Fi®)接続する必要があります。

本製品では、お買い上げ時の状態で「SSID2(WEP)」はご利用になれません。無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ設定でSSID2モジュールをオンにしてください。

詳しくは、「SSID2(WEP)を設定する場合」(▶P.47)を参照してください。

5GHz帯の使用について

■ DFS機能

本製品は無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯での電波干渉を避けるため、法令(電波法)により、DFS機能を搭載しています。本製品が利用する無線LAN(Wi-Fi®)5GHzの周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本製品が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさない無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。

周囲に同じ無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を使っている無線LAN(Wi-Fi®)端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなる場合があります。

■ DFSチェックについて

無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがないかを最低でも1分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFSチェック」と呼びます。

本製品の電源を入れたとき、一定時間データ通信が行われないなどで無線LAN(Wi-Fi®)機能が停止された状態から再開するときなどに、DFSチェックが作動します。

DFSチェック中は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が一時的に停止され、無線LAN(Wi-Fi®)機能が再開するまでに1分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。

本製品に接続している無線LAN(Wi-Fi®)端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線LAN(Wi-Fi®)端末側で再接続の操作を行ってください。

※: DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。



- 以下の場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が再起動することがあります。
 - ・無線LAN(Wi-Fi®)の設定項目を変更するとき
 - ・気象レーダーなどと電波干渉が起きたとき

無線 LAN 接続 / LAN 接続

- ◎ WPS機能の接続設定は機器によって異なりますので、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書などを参照してください。
 ◎ 本製品の「SSID1」のSSIDステルス機能が有効になるとWPS機能は使用できません。SSIDステルス機能については、「セキュリティ設定」(▶P.46)を参照してください。
 ◎ 本製品のWPS機能は約2分間有効です。WPS機能をオンにしてから約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS接続を完了してください。
 ◎ 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末をWPS接続する場合に接続するSSIDは、無線LAN(Wi-Fi®)端末の暗号化方式によって決定されます。無線LAN(Wi-Fi®)端末の暗号化方式がWEPのみに対応の場合は「SSID2」(▶P.47)に自動的に接続され、WEPとWPA2/WPAIに対応の場合は「SSID1」に優先して接続されます。
 ◎ WPS機能を実行して「SSID2」に接続機器を追加すると、「SSID2」のネットワーク名とWEPキー(WEP Key)が自動で変更されることがあります。WPS機能を実行する前に手動で接続していた機器の接続が切断された場合は、「セキュリティ設定」(▶P.46)で変更されたネットワーク名とWEPキー(WEP Key)を確認し、手動で再設定を行ってください。

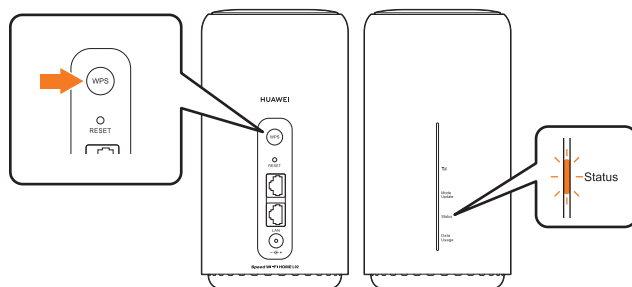
1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 無線LAN (Wi-Fi®) 端末の無線LAN (Wi-Fi®) 機能をオンにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行う

3 本製品のWPSボタンを約1秒以上押す

WPS機能がオンになり、Statusランプが緑色でゆっくり点滅します。



WPSボタン	Statusランプ	動作
約1秒以上押す	 (点滅)	無線LAN(Wi-Fi®)端末にWPS接続

- 接続する無線LAN(Wi-Fi®)端末が2.4GHzと5GHzの両方をサポートし、WPS接続する周波数帯を設定できない場合は、周囲のWi-Fi®の無線環境により接続する周波数帯が異なります。
- WPS実行中に再度WPSボタンを約1秒以上押すと、WPSを停止します。

4 約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS機能の接続操作を行う

設定に成功すると、本製品のStatusランプが緑色で点灯します。

- ・お使いの無線LAN(Wi-Fi[®])端末によって操作は異なります。



- お使いのWPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末にWPS用のPINコードが指定されている場合には、指定されたPINコードをあらかじめ本製品の設定項目「WPS PIN入力」に設定しておく必要があります。「WPS設定」(▶P.49)を参照してください。また、「WPS PIN入力」を設定すると、本製品のWPS機能がオンになります。約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi®)端末でWPS機能の接続操作を行ってください。

Wi-Fi設定お引越し機能を利用して接続する

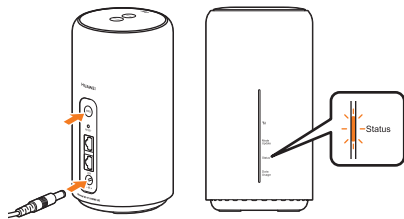
これまで利用していたWi-Fiルーターに代わって本製品をご使用になる場合は、そのSSIDとパスワードを本製品に引き継ぐことができます。

無線LAN(Wi-Fi®)端末側の設定を変える必要がなく、 ランプの表示で確認しながら簡単に接続することができます。

・これまで利用していたWi-FiルーターにWPS機能が搭載されている場合のみ、利用できます。また、Wi-Fiルーターの設定によっては、引き継げないことがあります。

1 WPSボタンを押しながら電源プラグを接続(電源オン)する

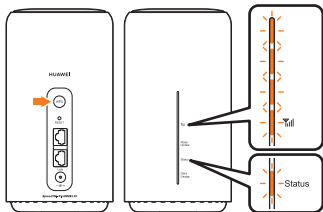
すべてのランプが点灯後、次のランプ表示となります。



 ランプ	●(消灯) ●(消灯) ●(消灯) ●(消灯)
Mode/Updateランプ	●(消灯)
Statusランプ	●●●●(点滅)
Data/Usageランプ	●(消灯)

2 WPSボタンを1秒以上押す

Wi-Fiお引越しが始まります。



 ランプ	●(消灯) ●●●●(点滅):5GHz引越し中 ●(消灯) ●●●●(点滅):2.4GHz引越し中
Mode/Updateランプ	●(消灯)
Statusランプ	●●●●(点滅)
Data/Usageランプ	●(消灯)

3 これまでお使いのルーターのWPS機能を実行する

WPS機能の実行方法は、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

4 Wi-Fiお引越しの結果を確認する

アンテナランプの表示でどの帯域のお引越しが成功したかがわかります。

・お引越しに失敗した場合は、もう一度操作2、3を行ってください。再度行っても失敗する場合は、「手動設定で接続する」(▶P.22)を行ってください。

2.4GHzのお引越しが成功

 ランプ	●(消灯) ●(消灯) ●(消灯) ●●●●(点滅)
--	-------------------------------------

5GHzお引越しが成功

 ランプ	●(消灯) ●●●●(点滅) ●(消灯) ●●●●(点滅)
--	--

2.4GHz/5GHzお引越しが失敗

 ランプ	●(消灯) ●(消灯) ●(消灯) ●(消灯)
--	----------------------------------

5 別の周波数帯域のお引越しをする

もう1つの周波数帯域(2.4GHzまたは5GHz)のお引越しを行うには、操作2、3を行ってください。

・お引越しに失敗した場合は、もう一度操作2、3を行ってください。再度行っても失敗する場合は、「手動設定で接続する」(▶P.22)を行ってください。

・Wi-Fiお引越しする周波数帯が、どちらか一方の場合は、操作5、6は不要です。本製品の電源を入れ直してください。

2.4GHzのお引越しが成功後、5GHzお引越し中

 ランプ	●(消灯) ●●●●(点滅) ●(消灯) ●●●●(点滅)
Mode/Updateランプ	●(消灯)
Statusランプ	●●●●(点滅)
Data/Usageランプ	●(消灯)

5GHzお引越しが成功後、2.4GHzお引越し中

 ランプ	●(消灯) ●●●●(点滅) ●(消灯) ●●●●(点滅)
Mode/Updateランプ	●(消灯)
Statusランプ	●●●●(点滅)
Data/Usageランプ	●(消灯)

6 お引越しの完了を確認する

2.4GHzと5GHzのお引越しが完了した場合は、ランプが次のように表示され、3秒後に自動で通常動作となります。

 ランプ	●(消灯) ●●●●(点滅):5GHzお引越し完了 ●(消灯) ●●●●(点滅):2.4GHzお引越し完了
Mode/Updateランプ	●(消灯)
Statusランプ	●●●●(点滅)
Data/Usageランプ	●(消灯)

7 これまでお使いのルーターの電源をオフにする



◎ Wi-Fi設定お引越し機能では、引き継げない暗号化モードや、SSIDやパスワードで引き継げない文字があります。本製品で利用できる暗号化モードや、SSIDとパスワードの文字列については、「セキュリティ設定(2.4GHz/5GHz)」(▶P.46)を参照してください。

◎ 本製品をリセットすると引き継いだ内容もすべて削除されます。

スマートフォンを接続する

手順は一般的なスマートフォン(Android OS搭載端末)で、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書などを参照してください。

「HUAWEI HiLink」アプリを利用してスマートフォンと接続する

スマートフォンに「HUAWEI HiLink」アプリをインストールすることで、Wi-Fi初期設定シールまたは本体の底面に記載されているWi-Fi接続用のQRコードをアプリでスキャンして、自動的に本製品と接続することができます。

※QRコードには、2.4GHz帯接続用と5GHz帯接続用の2種類があります。

- ・2.4GHz帯接続用: Wi-Fi初期設定シールと本体の底面の両方に記載されています。
- ・5GHz帯接続用: Wi-Fi初期設定シールのみに記載されています。

「HUAWEI HiLink」アプリをインストールする

Wi-Fi初期設定シールまたは本体の底面に記載されているWi-Fi接続用のQRコードを使ってスマートフォンを接続するには、スマートフォンにあらかじめ「HUAWEI HiLink」アプリをインストールしておく必要があります。

1 スマートフォンのQRコード読み取りアプリで、次のQRコードを読み取る

- ・QRコード読み取りアプリの指示に従って、読み取ったURLに接続してください。
「HUAWEI HiLink」アプリ ダウンロード(Play ストア)
<http://consumer.huawei.com/minisite/mobilewifiapp/download.html>



- ・QRコードは、本製品の個装箱にも掲載しています。

2 「インストール」をタップする

- ・「HUAWEI HiLink」アプリがダウンロードされることをご確認ください。



- ◎ Google Play™の利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書などを参照してください。
- ◎ QRコードを読み取る方法のほか、Google Play™で「Huawei HiLink」アプリを検索してダウンロードすることもできます。

QRコードをスキャンして接続する

1 スマートフォンのアプリ一覧から「HUAWEI HiLink」をタップする



- ・初回起動時は「HUAWEI HiLink」アプリ使用の案内が表示されます。画面をフリックして最終ページを表示してください。
- ・あらかじめ、スマートフォンの無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにしてください。

デバイスの選択画面が表示されます。

2 「3G/4G無線ルーター」→「後で」の順にタップする



HUAWEI HiLinkのホーム画面が表示されます。

3 「ツール」→「QRコードのスキャン」の順にタップする



4 Wi-Fi初期設定シールまたは本体の底面に記載されているWi-Fi接続用のQRコードを読み取る



スマートフォンの画面に無線LAN(Wi-Fi®)の電波アイコンが表示されたら設定完了です。

memo

- ◎ Google Play™の利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書などを参照してください。
- ◎ QRコードを読み取る方法のほか、Google Play™で「HUAWEI HiLink」アプリを検索してダウンロードすることもできます。
- ◎ 「HUAWEI HiLink」以外のアプリで本製品のQRコードを読み取っても、自動で接続することはできません。必ず「HUAWEI HiLink」アプリをお使いください。
- ◎ Wi-Fi接続用のQRコードを読み取っても自動で本製品と接続できないときは、「手動設定で接続する」(▶P.22)を参照して接続してください。
- ◎ 「HUAWEI HiLink」アプリについてご不明な点は、本アプリのディベロッパーまたは以下のホームページよりお問い合わせください。
<http://consumer.huawei.com/jp/support/index.htm>
- ◎ 「HUAWEI HiLink」アプリでは、「ベストポジション」などの機能も利用できます。

手動設定で接続する

「HUAWEI HiLink」アプリを利用しない場合は、パスワードを入力する必要があります。

- ・ 本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続します。本製品のSSID1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱のWi-Fi初期設定シールのほか、本体の底面でも確認できます。
- ・ 無線LAN(Wi-Fi®)接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi®)端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi®)端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi®)端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 スマートフォンのメニューから「設定」を選択する

3 設定画面で「Wi-Fi」を選択する

4 Wi-Fiをオンにする

アクセスポイントの検索を開始します。

5 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

- ・ 本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。

6 事前共有キー(WPA Key)を「パスワード」に正しく入力し、「接続」を選択する

接続に成功すると、スマートフォンに表示されている本製品の「SSID1」の項目に「接続されました」など接続完了を示すメッセージが表示されます。

iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Proを接続する

画面表示や手順はiPhoneで、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

QRコード表示機能を利用して接続する

iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Proに「HUAWEI HiLink」アプリをインストールすることで、Wi-Fi初期設定シールまたは本体の底面に記載されているWi-Fi接続用のQRコードをアプリでスキャンして、自動的に本製品と接続することができます。

※QRコードには、2.4GHz帯接続用と5GHz帯接続用の2種類があります。

- ・2.4GHz帯接続用: Wi-Fi初期設定シールと本体の底面の両方に記載されています。
- ・5GHz帯接続用: Wi-Fi初期設定シールのみに記載されています。

「HUAWEI HiLink」アプリをインストールする

Wi-Fi初期設定シールまたは本体の底面に記載されているWi-Fi接続用のQRコードを使ってiPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Proを接続するには、iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Proにあらかじめ「HUAWEI HiLink」アプリをインストールしておく必要があります。

1 iPhoneのQRコード読み取りアプリで、次のQRコードを読み取る

- ・QRコード読み取りアプリの指示に従って、読み取ったURLに接続してください。
「HUAWEI HiLink」アプリ ダウンロード(App Store)
<http://consumer.huawei.com/minisite/mobilewifiapp/download.html>



2 「入手」をタップする

- ・「HUAWEI HiLink」アプリがダウンロードされることをご確認ください。



- ◎ App Storeの利用にはApple IDが必要です。詳しくは、iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Proのユーザーガイドなどを参照してください。
- ◎ QRコードを読み取る方法のほか、App Storeで「Huawei HiLink」アプリを検索してダウンロードすることもできます。

QRコードをスキャンして接続する

1 iPhoneのホーム画面から「HUAWEI HiLink」をタップする



- ・初回起動時は「HUAWEI HiLink」アプリ使用の案内が表示されます。画面をフリックして最終ページを表示してください。
- ・あらかじめ、iPhoneのWi-Fiをオンにしてください。

デバイスの選択画面が表示されます。

2 「3G/4G無線ルーター」→「後で」の順にタップする

HUAWEI HiLinkのホーム画面が表示されます。



3 「ツール」→「QRコードのスキャン」をタップする



4 Wi-Fi初期設定シールまたは本体の底面に記載されているWi-Fi接続用のQRコードを読み取る

画面左上のステータスバーにWi-Fiアイコンが表示されたら設定完了です。



- ◎ App Storeの利用にはApple IDが必要です。詳しくは、iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Proのユーザーガイドなどを参照してください。
- ◎ QRコードを読み取る方法のほか、App Storeで「HUAWEI HiLink」アプリを検索してダウンロードすることもできます。
- ◎ 「HUAWEI HiLink」以外のアプリで本製品のQRコードを読み取っても、自動で接続することはできません。必ず「HUAWEI HiLink」アプリをお使いください。
- ◎ Wi-Fi接続用のQRコードを読み取っても自動で本製品と接続できないときは、「Wi-Fi設定から接続する」(▶P.22)を参照して接続してください。
- ◎ 「HUAWEI HiLink」アプリについてご不明な点は、本アプリのディベロッパーまたは以下のホームページよりお問い合わせください。
<http://consumer.huawei.com/jp/support/index.htm>

手動設定で接続する

「HUAWEI HiLink」アプリを利用しない場合は、パスワードを入力する必要があります。

- 本製品の「SSID 1 (WPA2/WPA)」を使用して接続します。本製品のSSID 1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱のWi-Fi初期設定シールのほか、本体の底面でも確認できます。
- 無線LAN(Wi-Fi[®])接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi[®])端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi[®])端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi[®])端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 iPhoneのホーム画面から「設定」を選択する

3 設定画面で「Wi-Fi」を選択する



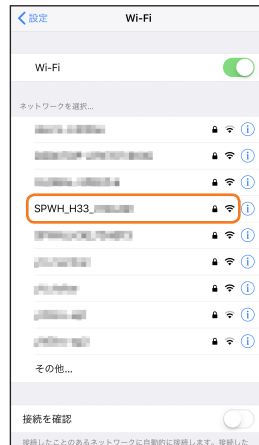
4 Wi-Fiをオンにする



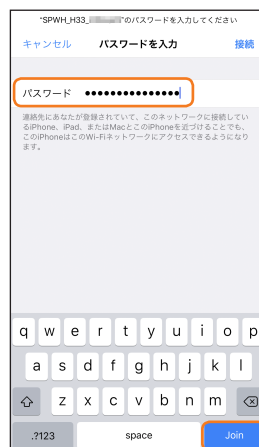
アクセスポイントの検索を開始します。

5 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

- 本製品の「SSID 1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



6 事前共有キー(WPA Key)を「パスワード」に正しく入力し、画面右下の「Join」を選択する



画面左上のステータスバーにWi-Fiアイコンが表示され、「SSID1」にチェックアイコンが表示されます。



Windowsパソコンを接続する



◎ 本製品のSSID1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱のWi-Fi初期設定シールのほか、本体の底面でも確認できます。SSID2のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の確認方法については、「SSID2(WEP)を設定する場合」(▶P.47)を参照してください。

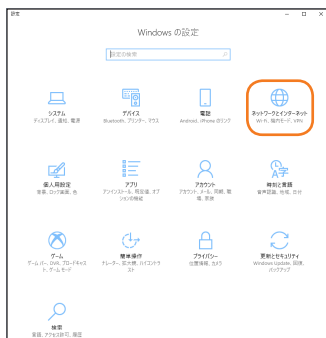
■ Windows 10の場合

画面表示や手順は、Windows 10で本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 パソコンの「スタート」メニューから「設定」を選択し、「ネットワークとインターネット」を選択する



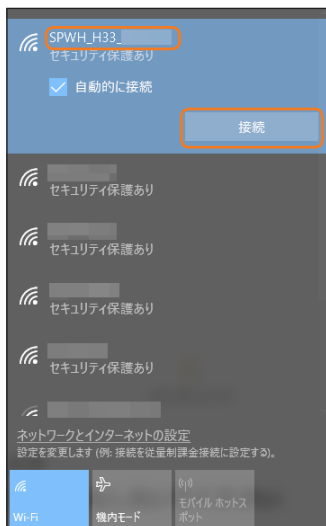
3 Wi-Fiを「オフ」から「オン」にし、「利用できるネットワークの表示」を選択する

アクセスポイントの検索を開始します。



4 本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、「接続」を選択する

- ・「自動的に接続」にチェックが付いていることを確認してください。
- ・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



5 事前共有キー (WPA Key) を「ネットワークセキュリティキーの入力」に正しく入力し、「次へ」を選択する



- ・「接続済み」が表示されていることを確認してください。



■ Windows 8.1の場合

画面表示や手順は、Windows 8.1で本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 パソコンのデスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスの場合は画面右上をポイント)し、「設定」を選択する



3 Wi-Fiアイコンを選択する

「利用不可」と表示されている場合は、パソコンの無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオフになっています。Wi-Fiアイコンを選択→Wi-Fiをオンにしてください。

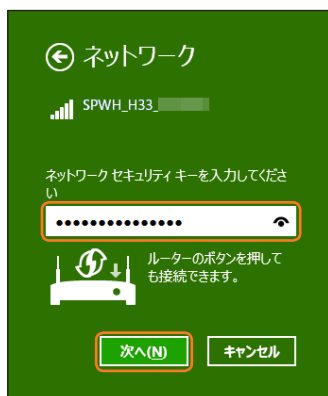


4 本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、「接続」を選択する

- ・「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認してください。
- ・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



5 事前共有キー (WPA Key) を「セキュリティキー」の入力欄に正しく入力し、「次へ」を選択する



- ・ネットワークのデバイスへの接続を行うかどうか確認のメッセージが表示されるので、必要に応じて項目を選択してください。
- ・「接続済み」が表示されていることを確認してください。



■ Windows 7の場合

画面表示や手順は、Windows 7で本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 パソコンの無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする

3 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順に選択する

4 「ネットワークに接続」を選択する

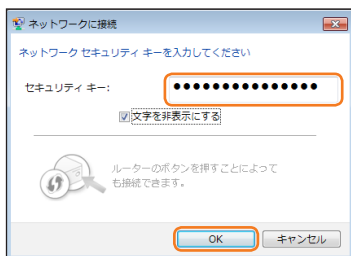


5 本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、「接続」を選択する

- ・「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認してください。
- ・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



6 事前共有キー(WPA Key)を「セキュリティ キー」に正しく入力し、「OK」を選択する



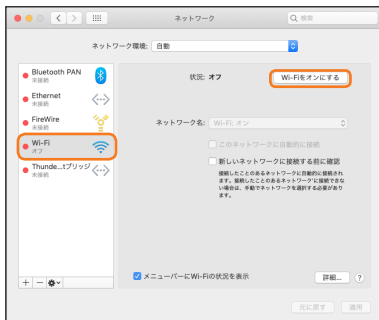
- ・手順3～4、またはタスクトレイの  アイコンを選択して接続状態の画面を開き、「接続」が表示されていることを確認します。



Macを接続する

画面表示や手順はmacOS High Sierra 10.13で、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

- 1 本製品の電源を入れる**
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。
- 2 アップルメニューから「システム環境設定...」を選択し、「ネットワーク」を選択する**
- 3 「Wi-Fi」を選択し、「Wi-Fiを入にする」を選択して無線LAN(Wi-Fi[®])機能をオンにする**



memo

◎「新しいネットワークに接続する前に確認」にチェックが付いていると、Wi-Fiを入にしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、キャンセルを選択して「ネットワーク」の画面に戻ってください。

- 4 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する**
 - ・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



- 5 事前共有キー(WPA Key)を「パスワード」に正しく入力し、「このネットワークを記憶」にチェックを付け、「接続」を選択する**
 - ・「ネットワーク名」が本製品の「SSID1」になっていることを確認してください。



Nintendo Switchを接続する

手順は、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、Nintendo Switchサポートサイトなどを参照してください。

- 1 本製品の電源を入れる**
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。
- 2 HOMEボタンを押してHOMEメニューを表示し、「設定」を選択する**
- 3 「インターネット」→「インターネット設定」の順に選択する**
アクセスポイントの検索を開始します。
- 4 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する**
 - ・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。
- 5 事前共有キー(WPA Key)を正しく入力し、「OK」を選択する**
設定が保存されます。「接続しました。」が表示されたら設定完了です。

※本書に記載されているNintendo Switchの接続方法は、当社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂(株)へのお問い合わせはご遠慮ください。

ニンテンドー3DS LL／3DSを接続する

画面表示や手順はニンテンドー3DS LL／3DSで、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源を入れる

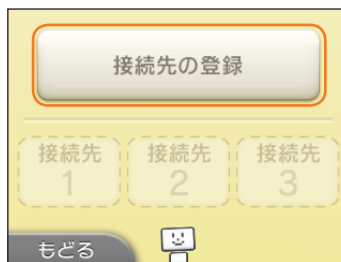
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 ニンテンドー3DS LL／3DSのメニュー画面から「本体設定」を選択し、「はじめる」を選択する

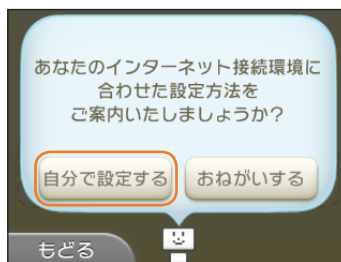


3 「インターネット設定」を選択し、「インターネット接続設定」を選択する

4 「接続先の登録」を選択する



5 「自分で設定する」を選択する



6 「アクセスポイントを検索」を選択する



アクセスポイントの検索を開始します。

7 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

・ 本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。

8 事前共有キー (WPA Key) を正しく入力し、「決定」を選択する

9 「OK」を選択する

設定が保存されます。

10 「OK」を選択する

接続テストが始まります。「接続テストに成功しました!」が表示されたら設定完了です。

※本書に記載されているニンテンドー3DS LL／3DSの接続方法は、当社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂(株)へのお問い合わせはご遠慮ください。



◎ 操作方法については、ニンテンドー3DS LL／3DSの取扱説明書を参照してください。

PlayStation®Vitaを接続する

画面表示や手順は、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PlayStation®Vitaの取扱説明書などを参照してください。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 PS Vitaのホーム画面から「設定」→「はじめる」→「ネットワーク」→「Wi-Fi設定」の順に選択する

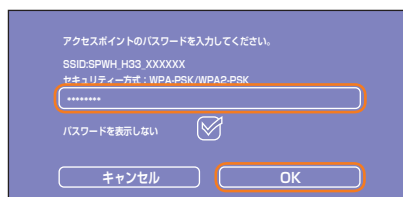
3 「Wi-Fi」にチェックを付ける

4 「アクセスポイント」の一覧画面から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



5 事前共有キー (WPA Key) を正しく入力し、「OK」を選択する



6 「Wi-Fi設定」画面に戻ったら、本製品の「SSID1」がWi-Fiで接続されていることを確認する

PlayStation®4を接続する

画面表示や手順は、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PS4®の取扱説明書などを参照してください。

1 本製品の電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになり、Statusランプが緑色で点灯します。

2 PS4®のホーム画面で方向キー「△」を押し、「設定」→「ネットワーク」→「インターネット接続を設定する」→「Wi-Fiを使う」→「かんたん」の順に選択し、○ボタンを押す

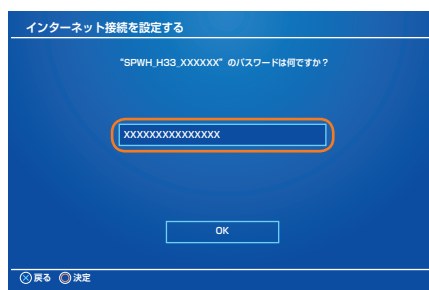
アクセスポイントの検索を開始します。

3 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、○ボタンを押す

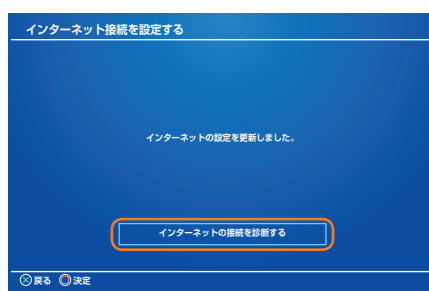
・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択し、○ボタンを押します。



4 事前共有キー (WPA Key) を正しく入力し、○ボタンを押す



5 「インターネット接続を診断する」を選択し、○ボタンを押す



接続テストが始まります。テストの結果が表示されたら設定完了です。

LAN接続する

WindowsパソコンにLAN接続する

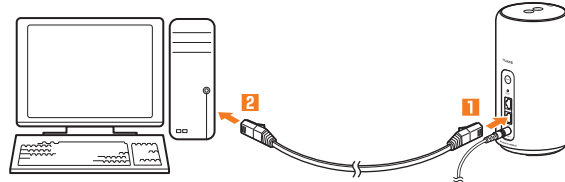
本製品をパソコンとLAN接続して使用する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Windowsパソコンに取り付ける

- 1 本製品のLAN接続端子にEthernetケーブル(試供品)を接続する**
 - コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。
- 2 Ethernetケーブル(試供品)のもう一方のコネクタをパソコンのLANコネクタに接続する**

パソコンがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のパソコンによっては、時間がかかる場合があります)。

 - コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



Windowsパソコンから取り外す

- 1 データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外す**

MacにLAN接続する

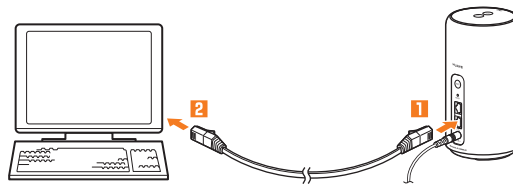
本製品をMacとLAN接続して使用する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Macに取り付ける

- 1 本製品のLAN接続端子にEthernetケーブル(試供品)を接続する**
 - コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。
- 2 Ethernetケーブル(試供品)のもう一方のコネクタをMacのLANコネクタに接続する**

Macがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のMacによっては、時間がかかる場合があります)。

 - コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



Macから取り外す

- 1 データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外す**

インターネットに接続する	36
通信モードを切り替える	36

インターネットに接続する

本製品は、無線LAN(Wi-Fi[®])接続またはLAN接続した端末からWiMAX 2+方式やLTE方式を使ってインターネット接続してデータ通信が行えます。



◎本製品の通信は、すべてベストエフォート方式です。接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

インターネットへの接続

本製品でインターネット接続する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してください。本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

通信モードを切り替える

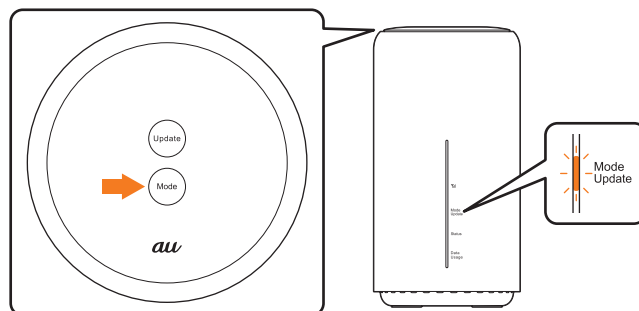
インターネット接続中に受信レベルが不安定になったり圏外になったときなど、通信モードを切り替えると安定した受信レベルでの通信ができる場合があります。

	WiMAX 2+	LTE
ハイスピード	○	—
ハイスピードプラスエリア	○	○

1 本製品のModeボタンを約2秒以上押す

Mode/Updateランプが緑色(「ハイスピード」)/黄色(「ハイスピードプラスエリア」)に切り替わります。

- ・お買い上げ時の通信モードは「ハイスピード」に設定されています。
- ・「ハイスピードプラスエリア」に切り替えると、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。



Modeボタン	Mode/Updateランプ	動作
約2秒以上押す	●(点灯)	ハイスピードモードに切り替え
	●(点灯)	ハイスピードプラスエリアモードに切り替え
	●●●●●(点滅)	通信モードの切り替えエラー ※3回だけ点滅後に、元の通信モードのランプ表示に戻ります。



◎通信モードの切り替えに失敗した場合は、時間をおいて再度試してみてください。また、ハイスピードプラスエリアモード規制(▶P.41)をオンにしている場合は、「ハイスピードプラスエリア」に切り替えることができません。

Speed Wi-Fi HOME設定ツールについて	38
インターネットや無線LAN(Wi-Fi®)の情報を確認する(接続)	40
各種機能の詳細設定をする(設定)	40
WAN設定	41
LAN設定	45
セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)	50
LED設定	55
システム設定	56
オンラインアップデート	58

Speed Wi-Fi HOME設定ツールについて

本製品に無線LAN(Wi-Fi®)または付属のEthernetケーブル(試供品)で接続したパソコンなどのWebブラウザから、Speed Wi-Fi HOME設定ツールを使用して本製品の各種機能を設定することができます。手順は無線LAN(Wi-Fi®)で接続した場合を例にして説明しています。

- 無線LAN(Wi-Fi®)で接続してSpeed Wi-Fi HOME設定ツールを使用する場合は、「SSID1」を使用して接続してください。「SSID2」や「ゲストSSID」を使用して接続するとSpeed Wi-Fi HOME設定ツールを使用できません。

memo

- 無線LAN(Wi-Fi®)でSpeed Wi-Fi HOME設定ツールに接続して「DHCP設定」(▶P.50)や「LAN設定」(▶P.45)の設定内容を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)の接続が切れることがあります。再接続するには無線LAN(Wi-Fi®)端末の設定変更が必要になりますのでご注意ください。
- Speed Wi-Fi HOME設定ツールを同時に複数の端末でログインして表示/設定することはできません。ログイン中に他の端末がログインした場合は、先にログインしていた端末は自動的にログアウトされます。
- Speed Wi-Fi HOME設定ツールは、以下のWebブラウザに対応しています。
 - Microsoft Internet Explorer 8.0~11.0
 - Microsoft Edge
 - Safari 10.0~12.0
 - Firefox 24.0~55
 - Chrome 41~69
 - Opera 41~55
 - iOS 8.0~12標準ブラウザ
 - Android 4.1、4.2、4.3、4.4、5.0、5.1、6.0、7.0、7.1、8.0、8.1、9.0標準ブラウザ/Chrome

Speed Wi-Fi HOME設定ツールを起動する

- 本製品の電源を入れる
- 無線LAN(Wi-Fi®)端末を起動し、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)で接続する
- Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://speedwifi.home」と入力する
ログイン画面が表示されます。

Speed Wi-Fi HOME設定ツールのトップページ

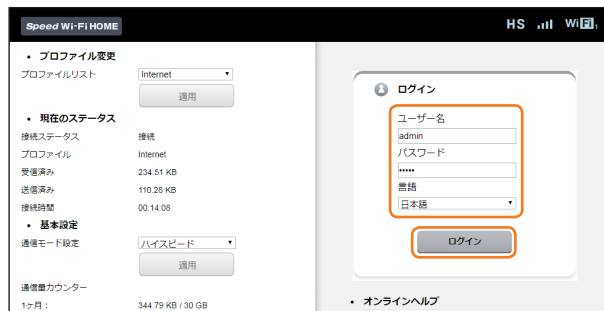


- プロフィール変更**
プロフィールリストからプロファイルを選択します。本製品にはあらかじめ設定されているプロファイルを含めて最大10件までプロファイルを追加することができます。ご自分で加入されたインターネットサービスプロバイダの指定に応じて、新しいプロファイルを作成することもできます(▶P.42)。
- 現在のステータス**
本製品の現在の通信状態(ステータス)が表示されます。
- 基本設定**
通信モード設定のリストからネットワークへの接続方法を選択します。通信量カウンターでは、1ヶ月間/3日間の利用データ通信量が確認できます。
- 契約電話番号**
電話番号が表示されます(本製品で音声電話の発着信などは行えません)。
- ログイン**
ユーザー名とパスワードを入力してSpeed Wi-Fi HOME設定ツールにログインします(▶P.39)。
- オンラインヘルプ**
オンラインヘルプを表示します。
- バージョン**
本製品の機種名とソフトウェアバージョンが表示されます。本製品に内蔵されたソフトウェアは、インターネットを通じて最新のバージョンにアップデートできます(「オンラインアップデート」)(▶P.58))。
- スマホでの操作は「Huawei HiLink」へ**
「HUAWEI HiLink」アプリをダウンロードするためのQRコードを表示します(▶P.21)。

Speed Wi-Fi HOME設定ツールにログインする

1 ユーザー名「admin」とパスワードを入力して、「ログイン」を選択する

- ・お買い上げ時のSpeed Wi-Fi HOME設定ツールのログインパスワードは、本体の底面に記載されている「初回ログインID/パスワード」が設定されています。
- ・初回起動時は、「自動アップデート機能設定のお願い」と「5GHz優先機能」の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ・必要に応じて言語欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。
- ・「ログイン」を選択すると、「ログインパスワードの強度が低すぎます。セキュリティ問題を避けるため、パスワードを変更してください。」の確認画面が表示されます。



2 「今すぐ変更」／「後で」を選択する

- ・「今すぐ変更」を選択すると、パスワードの変更画面が表示されます。現在のパスワードと新しいパスワードを2回入力します。「変更」を選択して、画面の指示に従って「続行」を選択すると、パスワードが変更できます。ログイン画面に戻りますので、新しいパスワードでログインします。変更したログインパスワードの強度によっては、ログイン時に再度パスワード変更の確認画面が表示される場合があります。
- ・「後で」を選択してログインすると、Speed Wi-Fi HOME設定ツールの各種設定・接続情報画面が表示されます。
- ・確認画面の「今後表示しない」にチェックを付けると、次のログイン時から確認画面は表示されなくなります。

memo

- ◎ 約1分以内にパスワードの入力を3回連続して間違えると、Speed Wi-Fi HOME設定ツールが一時的にロックされます。約3分経過してから再度ログインしてください。
- ◎ セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをおすすめします。変更方法については、「パスワード変更」(▶P.57)を参照してください。
- ◎ Speed Wi-Fi HOME設定ツールを約5分間操作しない場合、自動的にログアウトし、トップページに戻ります。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。
- ◎ お使いのWebブラウザによっては、パスワード入力欄が空欄の状態ではパスワードを入力すると、が表示され、選択すると入力したパスワードを確認できます。

Speed Wi-Fi HOME設定ツールの各種設定・接続情報画面



- ① **メニューナビ**
メニュー項目を選択して切り替えます。
- ② **サブメニュー**
サブメニュー項目を選択して切り替えます。
- ③ **アップデート検出表示**
「アップデートチェック」(▶P.58)をオンに設定して、最新ソフトウェアを検出した場合に表示されます。
- ④ **DFSチェック中表示**
DFSチェック(▶P.18)中に表示されます。
- ⑤ **5GHz優先機能設定中表示**
5GHz優先機能(▶P.47)を設定中に表示されます。
- ⑥ **通信モード**
現在の通信モードが表示されます。
- ⑦ **受信レベル表示**
接続されているネットワークの受信レベルが表示されます。
- ⑧ **LAN接続状態表示**
無線LAN(Wi-Fi®)接続中は接続端末数が表示されます。
- ⑨ **ログアウト**
Speed Wi-Fi HOME設定ツールからログアウトします。
- ⑩ **ヘルプ**
「取扱説明書 詳細版」(本書)や、ソフトウェアアップデート情報のページを表示します。
- ⑪ **設定ページ**
各機能の設定／情報画面が表示されます。

インターネットや無線LAN(Wi-Fi®)の情報を確認する(接続)

1 メニューナビから「接続」を選択する

サブメニューが表示されます。

2 確認したい項目を選択する

接続ステータス

インターネット(接続ステータス)についての情報が表示されます。



- ◎ 表示される受信済み/送信済みデータ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続の受信データ/送信データ量および接続時間は、データ通信が切断されたり、本製品を再起動したときにリセットされます。

情報

本製品の端末情報が表示されます。



「詳細」を選択すると、Wi-Fiチャンネル、Wi-Fiデータレート(Mbps)、プライバシーセパレータの設定状況とWi-Fi接続情報が表示されます。



- ◎ 電話番号が表示されますが、本製品で音声電話の発着信などは行えません。

各種機能の詳細設定をする(設定)

1 メニューナビから「設定」を選択する

サブメニューが表示されます。

2 設定する機能を選択する

- ・WAN設定
WANに関する詳細機能を設定します(▶P.41)。
- ・LAN設定
無線LAN(Wi-Fi®)機能に関する詳細機能を設定します(▶P.45)。
- ・ファイアウォール設定
ファイアウォール機能に関する詳細設定を行います(▶P.50)。
- ・LED設定
LEDランプの点灯時間を設定します(▶P.55)。
- ・システム設定
システムに関する詳細機能を設定します(▶P.56)。
- ・オンラインアップデート
最新のソフトウェアを手動でアップデートします(▶P.58)。

WAN設定

インターネットへの接続方法や利用する通信方式を設定します。

1 サブメニューから「WAN設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

基本設定

WANの基本的な機能を設定できます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード設定 ^{※1}	ネットワークへの通信方法を設定します。	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア ^{※2}	ハイスピード
ハイスピードプラスエリアモード規制 ^{※3}	ハイスピードプラスエリアモードへの切り替えを規制するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

※1：「ハイスピード」に設定するとWiMAX 2+ネットワーク、「ハイスピードプラスエリア」に設定するとWiMAX 2+またはLTEネットワークに接続します。

※2：「ハイスピードプラスエリア」を選択して「適用」を選択すると、確認画面が表示されます。「OK」を選択して、「続行」を選択してください。「ハイスピードプラスエリア」に切り替えてご利用の場合、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

※3：オンにすると、Modeボタンを約2秒以上押す、またはSpeed Wi-Fi HOME設定ツールで通信モードを「ハイスピードプラスエリア」に切り替えることができなくなります。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

通信モード自動切替

ハイスピードプラスエリアモード使用時のデータ通信量超過を防ぐため、設定したデータ通信量を超えると、自動的にハイスピードモードに切り替えるように設定できます。

また、一定時間経過後にハイスピードモードに切り替えるように設定することもできます。

・「通信モード自動切替」をオンにすると、通信モードアイコンが「HS+A」に変わり、Mode/Updateランプが黄色で点滅し続けます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード自動切替	ハイスピードプラスエリアモードから自動的にハイスピードモードに切り替えるかどうかを設定します。 ・通信モードをハイスピードプラスエリアモードに設定した場合、本機能は設定できません。	オン、オフ	オフ
カウント方式(固定) ^{※1}	通信量をカウントする通信モード(ハイスピードモード/ハイスピードプラスエリアモード)が表示されます。	—	—
最大データ通信量設定 ^{※1}	カウントするデータ通信量の最大値を設定します。	1～99	30GB
通知設定 ^{※1}	「HSに切替えるデータ通信量設定」欄で設定した値を超えた場合の通知がオンであることを表示します。	—	—
HSに切替えるデータ通信量設定 ^{※1}	最大データ通信量の何%になったときにハイスピードモードに切り替えるかを設定します。	10%、20%、…、100%	90%
現在のHS+Aデータ通信量 ^{※1}	現在まで使用したデータ通信量を表示します。	—	—
時間切り替え ^{※1}	通信がない状態で約15分、または設定後約10時間経過すると自動的にハイスピードモードに切り替えるかを設定します。	オン、オフ	オフ

※1：「通信モード自動切替」をオンに設定すると表示されます。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

- ハイスピードモードに切り替えた場合は、本設定は解除されます。
- 時間切替機能設定中に電源オフまたは再起動すると本設定は解除され、ハイスピードモードに戻ります。
- ハイスピードプラスエリアモード利用時、「ハイスピードプラスエリアモード規制」がオンに設定されている場合は、本設定は利用できません。
- 「通信モード自動切替」機能で設定した内容は、「通信量カウンター」(▶P.44)に反映されます。
- お買い上げ時は「ハイスピード」に設定されています。「ハイスピードプラスエリア」に切り替えると、お客様の料金プランによっては追加料金がかかる場合がありますのでご注意ください。

接続設定

インターネットに接続するための設定や通信の設定ができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	プロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大10件	Internet
MTU(Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します。	1400~1440	1440

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

プロファイル設定

プロファイル(インターネットサービスプロバイダなどとの接続設定)を新規作成、編集、削除できます。
あらかじめ設定されているプロファイルを含めて最大10件までプロファイルを追加することができます。



■ プロファイルを新規作成する場合

1 「新規」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト ^{※1}	編集／削除するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大10件 ^{※2}	Internet
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号 ^{※3} (「!」「#」「\$」「%」「&」「*」「+」「-」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「@」は除く)	(なし)
APN(接続先情報)	アクセスポイント名(APN)を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号 ^{※3} (「!」「#」「\$」「%」「&」「*」「+」「-」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「@」は除く)	(なし)
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大45文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「\$」「%」「&」「*」「+」「-」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「@」は除く)	(なし)
パスワード	パスワードを設定します。	最大16文字までの半角英数字と半角記号 ^{※3} (「!」「#」「\$」「%」「&」「*」「+」「-」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「@」は除く)	(なし)
認証タイプ	認証方式を設定します。	PAP、CHAP	CHAP
IPタイプ	IPタイプを選択します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6

※1：新規作成時には表示されません。

※2：お買い上げ時に設定されているプロファイルが表示されますが、編集／削除はできません。

※3：全角文字を入力できますが、保存できません。

3 設定が完了したら「保存」を選択し、「続行」を選択する

■ 作成したプロフィールを編集する場合

- 1 プロファイルリストから編集したいプロフィールを選択する
- 2 編集が完了したら「保存」を選択し、「続行」を選択する

■ 削除する場合

- 1 プロファイルリストから削除したいプロフィールを選択する
- 2 「削除」を選択する
- 3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

memo

◎ プロファイルを新規に作成した場合は、「接続設定」の「プロファイルリスト」で新しく登録した接続先が選択されていることを確認してください(▶P.42)。
◎ 追加したプロフィールを適用する場合は、再起動を行ってください(▶P.57)。

■ PINコード管理

au IC カードにPIN(暗証番号)を設定すると、パソコンなどから接続したときにPINコードの入力が必要となり、不正使用から保護できます。
・PINコードについては「PINコードについて」(▶P.8)を参照してください。



■ PINコードを有効にする場合

- 1 PINコード操作欄から「有効にする」を選択する
- 2 現在のPINコード欄に正しいPINコードを入力する
 - ・お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。
- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する
 - ・次回、起動時より有効になります。

■ PINコードを無効にする場合

PINコードが有効のとき、PINコードを無効にします。

- 1 PINコード操作欄から「無効にする」を選択する
- 2 現在のPINコード欄に正しいPINコードを入力する
- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

■ PINコードを変更する場合

PINコードが有効のとき、必要に応じて4～8桁のお好きな番号にPINコードを変更することができます。

- 1 PINコード操作欄から「変更する」を選択する
- 2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のPINコード	現在設定されているPINコードを入力します。	4～8桁の数字	※
新しいPINコード	PINコードを変更する場合に、新しいPINコードを入力します。	4～8桁の数字	(なし)
確認用PINコード	確認のため、新しいPINコードを再入力します。	4～8桁の数字	(なし)

※：お買い上げ時のau ICカードのPINコードは、「1234」に設定されています。

- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

■ 認証を行う

PIN認証を行うまではインターネットに接続されません。Speed Wi-Fi HOME設定ツールから、以下の手順でPIN認証を行ってください。

■ Speed Wi-Fi HOME設定ツールでPIN認証を行う

PIN認証を行っていない状態でSpeed Wi-Fi HOME設定ツールを起動すると、PINコードの入力画面が表示されます。

Speed Wi-Fi HOME

▲ PINコード管理

PINコードを入力して下さい。

現在のPINコード：

入力可能回数：3

適用

キャンセル

1 現在のPINコード欄に正しいPINコードを入力する

2 設定が完了したら「適用」を選択する

インターネットに接続され、トップページが表示されます。

memo

- ◎ PINコードは対応するWebブラウザが搭載された端末機器でのみ入力できます。
- ◎ PINコードは3回連続で間違えるとロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
PINロック解除コードは、au IC カードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ◎ PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ◎ PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

■ 通信量カウンター

データ通信量の表示に関する設定を行います。通信モードごとにデータ通信量の確認ができ、設定したデータ通信量を超えた場合には、本体に通知することができます。

■ データ通信量を確認する

1ヶ月	カウント開始日からその日までのデータ通信量を表示します。
3日	前日までの3日間、および本日までの3日間にカウントされたデータ通信量を表示します。

memo

- ◎ 通信量カウンターは端末本体でカウントしているため、実際のデータ通信量とは異なる場合があります。また、端末リセットやau ICカードの入れ替えをすると通信量カウンターはクリアされます。

Speed Wi-Fi HOME

HS 4G LTE Wi-Fi

接続

設定

バージョン

ヘルプ

ログアウト

▲ 設定 > WAN 設定 > 通信量カウンター

1ヶ月

401.67 KB

0 GB 30 GB

3日

前日までの3日間：0 KB

0 GB 10 GB

本日までの3日間：401.67 KB

0 GB 10 GB

ご利用になったデータ通信量の目安を表示します。実際のデータ通信量とは異なることがあります。

クリア

前回のクリア：

▲ データ設定(1ヶ月)

カウントする通信モードの選択：
ハイスピードモード：☐ オン ☒ オフ
ハイスピードプラスエリアモード：☒ オン ☐ オフ
最大データ通信量設定：

30

 GB
カウント開始日：

毎月 1

 日
通知設定：☐ オン ☒ オフ

適用

キャンセル

▲ データ設定(3日)

カウントする通信モードの選択：
ハイスピードモード：☒ オン ☐ オフ
ハイスピードプラスエリアモード：☒ オン ☐ オフ
最大データ通信量設定：

10

 GB

適用

キャンセル

■データ通信量の表示を設定する

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
データ設定(1ヶ月)			
カウントする通信モードの選択	通信量をカウントする通信モード(「ハイスピードモード」「ハイスピードプラスエリアモード」)をオン/オフで設定します。	オン、オフ	ハイスピードモード:オフ ハイスピードプラスエリアモード:オン
最大データ通信量設定	通信量カウンターの最大値を設定します。	1～99	30GB
カウント開始日 ^{*1}	通信量カウンターのカウント開始日を設定します。	1～31	毎月1日
通知設定	通知するデータ通信量設定欄で設定した値を超えた場合に通知を行うかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
通知するデータ通信量設定 ^{*2}	最大データ通信量の何%になったときに通知を行うかを設定します。	10%、20%、 ...、100%	90%
データ設定(3日)			
カウントする通信モードの選択	通信量をカウントする通信モード(「ハイスピードモード」「ハイスピードプラスエリアモード」)をオン/オフで設定します。	オン、オフ	ハイスピードモード:オン ハイスピードプラスエリアモード:オン
最大データ通信量設定	通信量カウンターの最大値を設定します。	1～30	10GB

- ※1: 「カウント開始日」を毎月31日に設定したとき、31日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。「カウント開始日」を変更すると、「通信モード自動切替」機能が正しく動作しない可能性があります。
- ※2: 「通知設定」をオンにすると設定できます。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

memo

- ◎ ネットワークから日付・時刻情報を取得できなかった場合、累計(カウントを開始した日からの合計)のデータ通信量が表示されます。日付・時刻情報を取得できると、当月および3日間のデータ通信量が表示されます。
- ◎ 「通信モード自動切替」(▶P.41)機能で設定した内容は「通信量カウンター」設定に反映されます。
- ◎ データ通信量が以下の状態になると、本製品のData Usageランプ(▶P.11)で通知されます。また、通信量カウンターのインジケータの色が緑から赤に変わります。
 - ・ 1ヶ月: 「通知設定」がオンのとき、1ヶ月のデータ通信量が「通知するデータ通信量設定」を超えた場合
 - ・ 3日: 前日までの3日間のデータ通信量が「最大データ通信量設定」を超えた場合

■カウントされたデータ通信量をクリアする

- 「クリア」を選択して「OK」を選択すると、カウントされたデータ通信量をクリアできます
- ・ カウントされたデータ通信量をクリアすると、「通信モード自動切替」機能が正しく動作しない可能性があります。

LAN設定

無線LAN(Wi-Fi[®])機能の各種設定ができます。

1 サブメニューから「LAN設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

基本設定

無線LAN(Wi-Fi[®])の基本的な機能を設定できます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
異なる周波数間の通信	SSID1(2.4GHz)とSSID1(5GHz)に接続した機器間の通信を許可するかどうかを設定します。	有効にする、無効にする	有効にする
周波数 2.4GHz			
Wi-Fiチャンネル	使用チャンネルを選択します。	自動 ^{*1} 、1、2、…、13	自動
IEEE802.11モード	無線LAN(Wi-Fi [®])機能の動作モードを選択します。	802.11b、802.11g、802.11b/g、802.11b/g/n	802.11b/g/n
Wi-Fiバンド幅	IEEE802.11モードの伝送速度を選択します。	20MHz、20/40MHz ^{*2}	20MHz
Wi-Fi機器の最大接続台数	Wi-Fi機器の最大接続台数を設定します。	1、2、…、20	20

設定項目	説明	設定範囲	初期値
周波数 5GHz			
Wi-Fiチャンネル	使用チャンネルを選択します。	W52、W53、W56、自動	W52
IEEE802.11モード	無線LAN(Wi-Fi [®])機能の動作モードを選択します。	802.11n、802.11a、802.11ac、802.11a/n、802.11a/n/ac	802.11a/n/ac
Wi-Fiバンド幅	IEEE802.11モードの伝送速度を選択します。	20MHz、20/40MHz、自動 ^{*2}	自動
Wi-Fi機器の最大接続台数	Wi-Fi機器の最大接続台数を設定します。	1、2、…、20	20

※1：「自動」では1～11chの中から自動的に選択されます。12／13chを使用したい場合は、「自動」ではなく「12」「13」を指定してください。

※2：IEEE802.11モードの設定によって、固定になる項目があります。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する



- ◎ 本設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi[®])で本製品に接続できなくなることがあります。接続できなくなった場合は、変更した内容にあわせて無線LAN(Wi-Fi[®])端末の設定を変更してください。
- ◎ 5GHz帯の使用については、「5GHz帯の使用について」(▶P.18)をよくお読みください。

セキュリティ設定(2.4GHz／5GHz)

無線LAN(Wi-Fi[®])のセキュリティ機能を周波数(2.4GHz／5GHz)ごとに設定できます。

Speed Wi-Fi HOME HS 無線LAN

接続 設定 バージョン ヘルプ ログアウト

WAN設定

LAN設定

基本設定

セキュリティ設定 2.4GHz

セキュリティ設定 5GHz

ゲストSSID設定

WPS設定

MACアドレスフィルタ

ファイアウォール設定

LED設定

システム設定

オンラインアップデート

設定 > LAN設定 > セキュリティ設定 2.4GHz

・パスワードの表示：「WPA事前共有キー」及び「WEPキー」の値を表示したい場合は、「パスワードの表示」のチェックを入れて下さい。

・SSIDステルス：「オン」に設定した場合、Wi-Fi機器から該当のSSIDがスキャンできなくすることでセキュリティを強化できます。

・Wi-Fi暗号化強化(PMF)：無線LAN管理フレームの一部を保護する機能(PMF)を有効にします。本機能の使用を要求してきた子機に対してのみ、保護機能が発動します。初期値は有効に設定されています。

・5GHz優先機能：2.4GHzと5GHzに対応したWi-Fi機器に対して、5GHzの電波レベルが高いときは自動的に5GHzへ切り替えることが出来る機能です。Wi-Fi機器は5GHzを利用することでスループットが向上します。

- 本機能をオンにすると2.4GHzと5GHzのSSID1の設定（SSID名、パスワードなど）が同じになります（2.4GHz SSID1）。
- 本機能を利用するには接続機器がIEEE802.11vに対応している必要があります。

・SSID2モジュール：SSID2に接続している機器から以下の機器への接続、ならびに設定ツールにはアクセス出来ません。

- SSID1、SSID2、ゲストSSIDに接続している機器
- LANポートに接続している機器

SSID1(WPA2/WPA)：

IEEE802.11認証：

WPA暗号化：

WPA事前共有キー：

SSIDステルス：

ブライパシーゼ/レータ：

Wi-Fi暗号化強化(PMF)：

5GHz優先機能：

SSID2モジュール：

パスワードの表示

適用

キャンセル

Speed Wi-Fi HOME HS 無線LAN

接続 設定 バージョン ヘルプ ログアウト

WAN設定

LAN設定

基本設定

セキュリティ設定 2.4GHz

セキュリティ設定 5GHz

ゲストSSID設定

WPS設定

MACアドレスフィルタ

ファイアウォール設定

LED設定

システム設定

オンラインアップデート

設定 > LAN設定 > セキュリティ設定 5GHz

・パスワードの表示：「WPA事前共有キー」及び「WEPキー」の値を表示したい場合は、「パスワードの表示」のチェックを入れて下さい。

・SSIDステルス：「オン」に設定した場合、Wi-Fi機器から該当のSSIDがスキャンできなくすることでセキュリティを強化できます。

・Wi-Fi暗号化強化(PMF)：無線LAN管理フレームの一部を保護する機能(PMF)を有効にします。本機能の使用を要求してきた子機に対してのみ、保護機能が発動します。初期値は有効に設定されています。

・SSID2モジュール：SSID2に接続している機器から以下の機器への接続、ならびに設定ツールにはアクセス出来ません。

- SSID1、SSID2、ゲストSSIDに接続している機器
- LANポートに接続している機器

SSID1(WPA2/WPA)：

IEEE802.11認証：

WPA暗号化：

WPA事前共有キー：

SSIDステルス：

ブライパシーゼ/レータ：

Wi-Fi暗号化強化(PMF)：

5GHz優先機能：

SSID2モジュール：

パスワードの表示

適用

キャンセル

■ SSID1 (WPA2/WPA) を設定する場合

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID1 (WPA2/WPA)	SSID1のネットワーク名を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※1
IEEE802.11認証	認証方式を選択します。	WPA/WPA2-PSK、WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
WPA暗号化	暗号化方式を選択します。	AES、AES+TKIP	AES+TKIP
WPA事前共有キー	使用する事前共有キー(WPA Key)を指定します。	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[「\」」「]」「^」「_」「`」「{「 」」「}」「~」は除く)、または64桁の16進数(0~9、A~F)	※1※2
SSIDステルス	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレータ	無線LAN(Wi-Fi®)端末同士の通信を禁止するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
Wi-Fi暗号化強化(PMF)	無線LAN(Wi-Fi®)管理フレームの一部を保護する機能(PMF)を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線LAN端末に対してのみ、保護機能が働きます。	オン、オフ	オン
5GHz優先機能※3	5GHzの電波レベルが良い時に自動的に5GHzに切り替えます。	オン、オフ	オフ

※1：お買い上げ時のSSIDと事前共有キー(WPA Key)については、同梱のWi-Fi初期設定シールを参照してください。
※2：画面には文字数の「●」で表示されます。「パスワードの表示」にチェックを付けると、確認できます。
※3：2GHzのみ表示されます。

memo

○「5GHz優先機能」をオンにすると2.4GHzと5GHzのSSID1の設定(SSID名、パスワードなど)が同じになります(2.4GHz SSID1)。また、セキュリティ設定は、2.4GHzの設定で行ってください。5GHzの設定では、セキュリティ設定はできません(全項目選択不可)。

○「5GHz優先機能」をオンに設定後、再度オフに戻した場合の設定値は次のようになります。

- ・「SSIDステルス」「プライバシーセパレータ」「Wi-Fi暗号化強化(PMF)」は、2.4GHzのセキュリティ設定の値になります。
- ・5GHzの「SSID1 (WPA2/WPA)」は、2.4GHzのSSID1に「_5G」を付加したSSIDになります。

○「5GHz優先機能」を利用するには接続機器がIEEE802.11vに対応している必要があります。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

■ SSID2 (WEP) を設定する場合

お買い上げ時の「SSID2モジュール」はオフに設定されています。オンに設定して更新された画面から各設定を行います。

1 「SSID2モジュール」をオンにする

画面の更新を確認する画面が表示されます。

2 「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

4 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2 (WEP)	ネットワーク名を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※1
暗号化モード	暗号化方式を選択します。	WEP64、WEP128	WEP64
WEPキー1~4	WEPキー(WEP Key)を設定します。	WEP64: 5文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[「\」」「]」「^」「_」「`」「{「 」」「}」「~」は除く)、または10桁の16進数(0~9、A~F) WEP128: 13文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[「\」」「]」「^」「_」「`」「{「 」」「}」「~」は除く)、または26桁の16進数(0~9、A~F)	※1※2
現在のネットワークキー	現在のネットワークキーを設定します。	1、2、3、4	1
SSIDステルス	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

※1：お買い上げ時のSSID2のネットワーク名とWEPキーは、SSID2モジュールの設定をオンにしたときに確認できます。
※2：画面には文字数の「●」で表示されます。「パスワードの表示」にチェックを付けると、確認できます。

5 設定が完了したら「適用」を選択し、「OK」を選択する

6 「続行」を選択する

- 「SSID2モジュール」をオフに設定する場合は、オフを選択し、「適用」→「OK」→「続行」の順に選択します。
- 「SSID2モジュール」をオンにした場合、本製品に接続できる無線LAN(Wi-Fi®)端末の最大接続台数(▶P.45)は、2.4GHzと5GHzでそれぞれ初期値の20台(SSID1とSSID2を合わせた台数)ずつとなり、固定されます。例えば、「SSID1モジュール」がオンで最大接続台数を10台に設定していても、「SSID2モジュール」をオンすると、2.4GHzと5GHzそれぞれの最大接続台数は20台になります。
- これらの設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)で本製品に接続できなくなることがあります。接続できなくなった場合は、変更した内容にあわせて無線LAN(Wi-Fi®)端末の設定を変更してください。
- SSID2に接続している機器からは、SSID1、SSID2、ゲストSSIDに接続している他の機器、LAN接続端子に接続している機器には接続できません。また、Speed Wi-Fi HOME設定ツールにもアクセスできません。
- 通信の安全性を高めるためには、暗号化方式をWEPよりもWPA2/WPAで設定することをおすすめします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。
- 「SSIDステルス」をオンにした場合でも、本製品と接続したことのある無線LAN(Wi-Fi®)端末は自動的に再接続できます。また、一度も接続したことがない無線LAN(Wi-Fi®)端末では本製品を検出できなくなります。

ゲストSSID設定

ゲスト用のSSIDを設定できます。

家を訪ねてきた友人や家族などが、一時的または無制限に本製品を利用してインターネットを楽しむことができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ゲストSSID	ゲストSSID機能のオン／オフを設定します。	オン、オフ	オフ
SSID※1	ネットワーク名を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※2
セキュリティ※1	暗号化方式を選択します。	WPA/WPA2-PSK、WEP64、WEP128、None	WPA/WPA2-PSK
パスワード※3	パスワードを設定します。	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(「.」「_」「-」「&」「\$」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または64桁の16進数(0～9、A～F)	(なし)※4
WEPキー1～4※5	WEPキー(WEP Key)を設定します。	WEP64: 5文字の半角英数字と半角記号(「.」「_」「-」「&」「\$」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または10桁の16進数(0～9、A～F) WEP128: 13文字の半角英数字と半角記号(「.」「_」「-」「&」「\$」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または26桁の16進数(0～9、A～F)	(なし)※4
現在のネットワークキー※5	現在のネットワークキーを設定します。	1、2、3、4	1
有効期間※1	有効期間を設定します。	無制限、4時間、1日	4時間

※1:ゲストSSIDをオンにすると設定できます。

※2:お買い上げ時のゲストSSIDのネットワーク名は、ゲストSSIDの設定をオンにしたときに確認できます。

※3:セキュリティをWPA/WPA2-PSKにすると設定できます。

※4:画面には文字数の「●」で表示されます。「パスワードの表示」にチェックを付けると、確認できます。

※5:セキュリティをWEP64またはWEP128にすると設定できます。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

- ゲストSSIDは2.4GHz帯のみ対応しています。
- ゲストSSIDに接続できる無線LAN(Wi-Fi®)端末の最大接続台数は、2.4GHz帯のSSID1／SSID2と合わせて最大20台となります。
- ゲストSSIDに接続している機器からは、SSID1、SSID2、ゲストSSIDに接続している他の機器、LAN接続端子に接続している機器への接続や、HUAWEI HiLinkアプリの「共有」機能の利用はできません。また、Speed Wi-Fi HOME設定ツールにもアクセスできません。
- セキュリティをNone(セキュリティなし)に設定すると、パスワードやWEPキーなどの入力をせずに本製品にアクセスすることができますが、意図しない相手のアクセスを許可することになりますのでご注意ください。
- 通信の安全性を高めるためには、暗号化方式をWEPよりもWPA2/WPAで設定することをおすすめします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。

WPS設定

WPS用のPINコードが指定されたWPS対応機器を接続する場合に、指定されているPINコードを設定します。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS周波数	WPS PINコードで接続する周波数を選択します。	2.4GHz、5GHz	2.4GHz
WPS PIN コード	WPS対応機器に指定されているPINコードを設定します。	4桁または8桁の半角数字	(なし)

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する



◎ WPS設定を行うとWPS機能がオンになるので、接続する無線LAN端末でWPS接続の操作を行ってから、約2分以内にWPS PINコードを設定してください。WPS機能を使つての接続については、「WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する」(▶P.19)を参照してください。

MACアドレスフィルタ

無線LAN(Wi-Fi®)端末のMACアドレスを登録して無線LAN(Wi-Fi®)接続の許可／拒否を設定し、セキュリティ機能を強化できます。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi MACフィルタ	MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	オフ、許可、拒否	オフ
MACアドレス	接続を許可、または拒否する無線LAN(Wi-Fi®)端末のMACアドレスを20個まで設定できます。	00～FFの6組の番号*	(なし)

※：「FF:FF:FF:FF:FF:FF」は設定できません。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する



◎ 本設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)で接続できなくなることがあります。その場合には、無線LAN(Wi-Fi®)端末のMACアドレスを確認し、正しく設定し直してください。
◎ 本設定を有効にしている場合、許可されていない無線LAN(Wi-Fi®)端末は、WPS機能を利用して接続できなくなります。

セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)

ファイアウォール機能に関する詳細設定を行うことができます。

1 サブメニューから「ファイアウォール設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

ファイアウォールスイッチ

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。

ファイアウォールを有効にするとインターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールの有効化	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
LAN IPフィルタ*	LAN IPフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
WANポートping*	WAN側からのpingに応答するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

※：ファイアウォールの有効化をオフに設定すると表示されません。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎ ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりすることがありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。

DHCP設定

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本製品のプライベートIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号 ^{*1}	192.168.100.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0～255の4組の番号 ^{*1}	255.255.255.0
DHCPサーバ	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
開始IPアドレス	本製品に接続した端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号 ^{*1}	192.168.100.100
終了IPアドレス	本製品に接続した端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号 ^{*1}	192.168.100.200
DHCPリース期間(秒)	IPアドレスのリース期間を設定します。	60～604800	604800
DNS設定	DNSサーバアドレスをDHCP機能で指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリDNS ^{*2}	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号 ^{*1}	(なし)
セカンダリDNS ^{*2}	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号 ^{*1}	(なし)

※1：「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

※2：DNS設定を「スタティック」に設定した場合のみ設定できます。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択する

設定内容が適用され、自動的に本製品が再起動し、ログイン画面が表示されます。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。



- ◎ IPアドレスと開始IPアドレス、終了IPアドレスには、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- ◎ 終了IPアドレスには、開始IPアドレスより値が大きいIPアドレスを指定してください。開始IPアドレスと終了IPアドレスを同じに指定すると、本製品に接続できる無線LAN(Wi-Fi®)端末は1台のみになります。
- ◎ これらの設定を変更すると、Speed Wi-Fi HOME設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、正しいIPアドレスを指定してSpeed Wi-Fi HOME設定ツールを起動し直してください。
- ◎ IPアドレスまたはサブネットマスクを変更すると、「LAN IPフィルタ」(▶P.51)、「ポートマッピング」(▶P.52)、「DMZ設定」(▶P.54)の設定変更が必要になる場合があります。

LAN IPフィルタ

ファイアウォールの基本的な機能です。

設定したルールに従い、インターネット通信時にLAN側の送信元とインターネットの送信先の各アドレスから、ファイアウォール通過を許可するかどうかを判断します。最大16件まで登録できます。



- ◎ この機能を利用するには、「ファイアウォールスイッチ」で「LAN IPフィルタ」をオンしておく必要があります(▶P.50)。
- ◎ サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。

■ ルールを登録する場合

1 各項目を設定する

選択したIPタイプに応じて設定項目の一部が変わります。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPタイプ	フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。	IPv4, IPv6	IPv4
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP, UDP, 両方	両方
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン, オフ	オフ
IPタイプで「IPv4」を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{※1} とワイルドカードとして「*」 ^{※2}	(なし)
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{※1} とワイルドカードとして「*」 ^{※2}	(なし)
IPタイプで「IPv6」を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します。	0000~FFFFの8組の番号	(なし)
LANプレフィックス長	LAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します。	0~128	(なし)
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します。	0000~FFFFの8組の番号	(なし)
WANプレフィックス長	WAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します。	0~128	(なし)
LANポート	ルールを適用するLAN側(送信元)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
WANポート	ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
種別	パケットに対する動作です。	拒否	拒否 ^{※3}
方向	方向ルールを適用するパケットの送信方向です。	OUT	OUT ^{※3}

※1: 「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

※2: 「*」を任意の文字として下記のように使うことができます。

1. *.*.*.*
2. 10.*.*.*
3. 10.10.*.*
4. 10.10.10.*

LAN側IPアドレスの場合は、同じサブネット内のIPアドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。

<例>

本製品をお買い上げ時の状態でお使いの場合、LAN側IPアドレスは「192.168.100.*」となります。DHCP設定のIPアドレスを「192.168.100.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN側IPアドレスは「192.168.*.*」となります。

※3: 変更できません。

2 「Add」を選択する

・続けて別のルールを登録する場合は、手順1～2を繰り返します。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

■登録したルールを変更する場合

1 LAN IPフィルタリストから、設定を変更したいルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択する

項目がグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「Add」を選択する

・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

■登録したルールを削除する場合

1 LAN IPフィルタリストから、削除したいルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択する

項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択する

グレー表示部分が削除されます。

・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

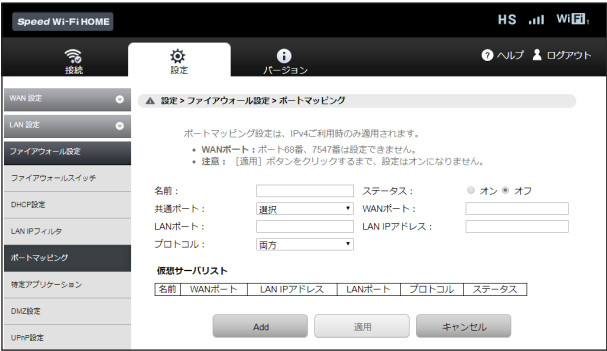
■ポートマッピング

インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるようにします。サーバやFTPを公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセージソフトなどを使用する場合に設定します。最大16件まで登録できます。

機能設定



- ◎ この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、公開するサーバには、「DHCP設定」(▶P.50)で割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。
- ◎ セキュリティ対策などでポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。



■ルールを登録する場合

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号*1 (「.」「_」「:」「&」「%」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「'」は除く)	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
共通ポート*2	サーバの種類を選択し、一般的な設定を入力することができます。	(リスト項目)	(選択)
WANポート	ルールを適用するWAN側(送信元)ポート番号を設定します。	1～65535 (68、7547を除く)	(なし)
LANポート	サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する場合の送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WANポート」番号と同じ値を設定します。	1～65535	(なし)
LAN IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号*3	(なし)
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP、UDP、両方	両方

*1：全角文字を入力できますが、保存できません。

*2：一般的なサーバ機能を設定する場合には、サーバの種類を選択すると、適切なポート番号などが自動的に入力され、設定が簡単になります。リストに表示されないサーバ機能を設定する場合には、「選択」を選択し、各項目を手動で設定してください。

*3：「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2 「Add」を選択する

- ・続けて別のルールを登録する場合は、手順1～2を繰り返します。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。仮想サーバリストが更新されます。

登録したルールを変更する場合

1 仮想サーバリストから、設定を変更したいルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択する

項目がグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「Add」を選択する

- ・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。仮想サーバリストが更新されます。

登録したルールを削除する場合

1 仮想サーバリストから、削除したいルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択する

項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択する

グレー表示部分が削除されます。

- ・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。仮想サーバリストが更新されます。

特定アプリケーション

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特定のアプリケーションが利用できるようにします。最大16件まで登録できます。



◎ アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。

ルールを登録する場合

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字、半角記号 ^{※1} （「,」「_」「~」「 」「&」「\$」「%」「+」「>」「<」「?」「/」は除く）、「(半角スペース)」	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
トリガーポート	制御データ用のポート番号を設定します。	1～65535	(なし)
トリガープロトコル	制御データに使用するプロトコルを設定します。	両方、TCP、UDP	両方
オープンポート	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を5つまで設定できます。	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結 ^{※2} 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
オープンプロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	両方、TCP、UDP	両方
共通ポート	サービスを選択し、サービスにあった設定を入力することができます。	(リスト項目)	(選択)

※1：全角文字を入力できますが、保存できません。

※2：範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は100以下にしてください。

2 「Add」を選択する

- ・続けて別のルールを登録する場合は、手順1～2を繰り返します。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。特定アプリケーションリストが更新されます。

■登録したルールを変更する場合

1 特定アプリケーションリストから、設定を変更したいルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択する

項目がグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「Add」を選択する

・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。特定アプリケーションリストが更新されます。

■登録したルールを削除する場合

1 特定アプリケーションリストから、削除したいルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択する

項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択する

グレー表示部分が削除されます。

・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。特定アプリケーションリストが更新されます。

DMZ設定

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定することができます。Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用するときに、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。



- ◎ DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保するようおすすめします。
- ◎ この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、DMZホストになる端末には、「DHCP設定」(▶P.50)で割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DMZステータス	DMZホストを設定するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
DMZ IPアドレス	DMZステータスがオンのとき、DMZホストのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号*	192.168.100.200

※：「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

UPnP設定

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセージングソフトなどのUPnP対応アプリケーションを使用するときに設定します。



1 UPnP機能の有効／無効を選択する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
UPnPステータス	UPnP機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

SIP ALG設定

SIPアプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。

memo

◎ この機能はIPv4のネットワークプロトコルの動作のみを制御します。IPv6のネットワークプロトコルの動作には影響しません。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SIPポート	SIPサービスプロバイダから指定されたポート番号を設定します。	1～65535	8080
SIP ALGを有効にする	SIP ALG機能を使用するかどうかを設定します。	チェックあり、チェックなし	(チェックなし)

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

LED設定

本製品のLEDランプの点灯時間を設定します。オンに設定すると常時点灯します。オフに設定すると消灯までの点灯時間を設定できます。また、Statusランプのみ常時点灯することもできます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
常時点灯	常時点灯のオン／オフを設定します。	オン、オフ、Statusランプのみオン	オン
点灯時間	常時点灯をオフまたはStatusランプのみオンにした場合の消灯までの時間を設定します。	15秒、30秒、1分、2分	15秒

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

memo

◎ 常時点灯をオフまたはStatusランプのみオンに設定しても、その他エラーなどをお知らせする場合は点灯することがあります(設定したデータ通信量を超えた場合はData Usageランプが黄色に点灯した状態で通知します)。
LEDランプ消灯時にいずれかのボタンを押す(約1秒以内)と、再度点灯します。

システム設定

各設定をお買い上げ時の状態に戻すなど本製品の設定や操作ができます。

1 サブメニューから「システム設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

バックアップ&リストア

Speed Wi-Fi HOME設定ツールの設定内容をログインしているパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。



バックアップ操作

1 「バックアップ」を選択する

2 「保存」を選択する

- お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。また、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。



- ◎ Webブラウザの設定によっては、保存先とファイル名を指定できない場合があります。
- ◎ 「通信モード自動切替」のオン/オフの設定は、バックアップを実行しても保存されません。
- ◎ PINコード管理の設定内容は、バックアップ&リストアを実行しても保存されません。

リストア操作

1 設定情報のリストア欄の「参照」を選択して読み込むファイルを指定し、「リストア」を選択する

- お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。

2 「OK」を選択し、「続行」を選択する

オールリセット

設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。



1 「オールリセット」を選択する

2 「OK」を選択する

- 本製品が再起動し、トップページが表示されます。
- ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。



- ◎ PINコード管理の設定内容は、オールリセットを実行してもお買い上げ時の状態に戻りません。

再起動

本製品を再起動することができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
再起動	手動で再起動させます。	(なし)	(なし)
自動再起動設定	オンの場合は、7日に1回自動的に本製品の再起動を行います。	オン、オフ	オン

2 「適用」を選択し、「続行」を選択する

- 本製品が再起動し、トップページが表示されます。
- ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
 - 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

パスワード変更

Speed Wi-Fi HOME設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。



1 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力する

- パスワードは、5文字以上、最大15文字までの半角英数字と半角記号(「!」「&」「.」「/」「¥」「\」「<」「>」は除く)で設定します。
- 新しいパスワードを入力すると、パスワードの強度(低、中、高)が表示されます。

2 「変更」を選択し、「続行」を選択する

- トップページが表示されます。
- 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

システムログ

ユーザー操作ログ、システムログ、セキュリティログをすべて、または表示タイプと表示レベルを設定して表示します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
表示タイプ	表示するログを設定します。	すべて、ユーザー、システム、セキュリティ	すべて
表示レベル	表示する表示レベルを設定します。	警告、注意、情報	警告

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎ 表示レベルの「注意」を選択した場合は「注意」と「警告」のログが表示され、「情報」を選択した場合は「情報」「注意」「警告」のログが表示されます。

オンラインアップデート

最新のソフトウェアの更新情報を確認してアップデートできます。「アップデートチェック」をオンにすると、更新情報のチェックを行い、続けてソフトウェアのアップデートを行うことができます。「自動アップデート」をオンにすると、最新のソフトウェアを検知して自動的にダウンロード、インストールを行います。



1 サブメニューから「オンラインアップデート」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
アップデートチェック	一定の周期で最新のソフトウェアの有無を自動的に確認する機能のオン／オフを設定します。	オン、オフ	オン
自動アップデート	最新のソフトウェアを検知した場合に、自動的にアップデートを行う機能のオン／オフを設定します。	オン、オフ	オフ
アップデート適用時のログイン確認	オンラインアップデートを行うためにはログインが必要になるように設定します。	オン、オフ	オン

3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

■ 更新(アップデート)する場合

1 「アップデート」を選択する

最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。最新のソフトウェアがない場合は、ここで操作終了です。
最新のソフトウェアがある場合は、ソフトウェア情報が表示されます。

2 「アップデート」を選択する

ダウンロードが開始されます。
ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

■ アップデートチェックで最新のソフトウェアを検出した場合

最新のソフトウェアを検出した場合は、Mode／Updateランプがアップデートを知らせる赤い点滅に変わり、Speed Wi-Fi HOME設定ツールの画面右上に  が表示されます。

Speed Wi-Fi HOME設定ツールへログインしていない状態で、パソコンなどでブラウジング中に最新のソフトウェアを検出した場合は、通知画面が表示されますので、次の操作でアップデートを行います。

1 通知画面で「適用」を選択する

アップデートのためにSpeed Wi-Fi HOME設定ツールへのログインを必要とする注意画面が表示されます。

2 「OK」を選択する

3 Speed Wi-Fi HOME設定ツールへログインして「アップデート」を選択する

ダウンロードが開始されます。
ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

■ ソフトウェアを自動的に更新する場合

自動アップデート機能をオンにしていた場合は、本製品が最新のソフトウェアを検知すると操作なしにアップデートします。

ただし、通信中の場合はアップデートされません。アップデートされなかった場合は、手動でUpdateボタンを約1秒以上押して、アップデートを開始できます。更新中は、Mode／Updateランプが赤で点滅(遅)します。



- ◎ オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。
- ◎ アップデートチェックの際には、お使いの端末にソフトウェアの更新(アップデート)が必要かどうかを調べるために、IMSI(ICカードなどに記録された加入者識別番号)の頭から5桁とSN(端末に記録された端末識別番号)をアップデートサーバに通知します。
- ◎ 最新のソフトウェアのダウンロードに失敗した場合は、本製品のMode／Updateランプが赤色で3回点滅(速)します。電波状況の良い場所でUpdateボタンを約1秒以上押して再度実行してください。
- ◎ その他オンラインアップデートの注意点については、「ソフトウェアを更新する」(▶P.60)を参照してください。

付録.....	60
ソフトウェアを更新する	60
故障とお考えになる前に	60
アフターサービスについて	61
周辺機器	62
Speed Wi-Fi HOME設定ツール メニュー項目／設定項目一覧	62
主な仕様	65
輸出管理規制	65
用語集	65
知的財産権について	67
商標について	67
個人情報保護方針	67
索引	68

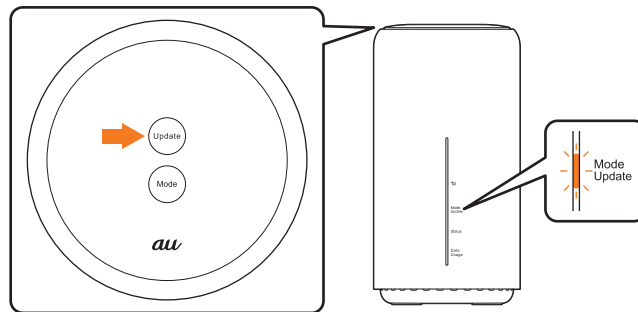
ソフトウェアを更新する

Speed Wi-Fi HOME設定ツールで更新(アップデート)の情報を通知したり、ソフトウェアを自動的に更新したりするように設定できます。最新のソフトウェアはダウンロードして更新(アップデート)できます。

■ソフトウェアを更新する

- 1 **Mode/Updateランプがアップデートを知らせる赤い点滅をしていることを確認する**
- 2 **Updateボタンを約1秒以上押す**
- 3 **Mode/Updateランプがアップデート中の赤い点滅に変わったことを確認する**

成功すると現在の通信モードの点灯に変わります。



Updateボタン	Mode/Updateランプ	動作
—	● (点滅)	アップデートあり
約1秒以上押す	● (点滅)	アップデート中
—	● (点灯)または● (点灯)	アップデート完了

■利用上の注意

- ・オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。
- ・アップデートの際には、お使いの端末にアップデートが必要かどうかを調べるために、IMSI(ICカードなどに記録された加入者識別番号)の頭から5桁とSN(端末に記録された端末識別番号)をアップデートサーバに通知します。
- ・最新のソフトウェアの確認に失敗した場合は、電波状況の良い場所で再度実行してください。
- ・データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(au電話から157/通話料無料)までお問い合わせください。また、Speed Wi-Fi HOME L02をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSpeed Wi-Fi HOME L02をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前に設定内容をバックアップされることをおすすめします。
- ・最新のソフトウェアのダウンロードに失敗した場合は、本製品のMode/Updateランプが赤色で3回点滅(速)します。電波状況の良い場所でUpdateボタンを同時に約1秒以上押して再度実行してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPi(一部ショップを除く)にお持ちください。



- ◎ Mode/Updateランプの点灯色と点灯パターンについては、「LED表示とボタン操作」(▶P.11)を参照してください。
- ◎ ソフトウェアの更新は、Speed Wi-Fi HOME設定ツールでも行うことができます。詳しくは、「オンラインアップデート」(▶P.58)を参照してください。

故障とお考えになる前に

項番	こんなときは	ご確認ください	参照
1	電源が入らない。	Speed Wi-Fi HOME ACアダプタをご使用ください。	P.62
2	Wi-Fiランプが点灯しているのに通信ができない。	Wi-Fiランプが消灯(圏外)から緑で点灯(圏内)になった場合、通信可能になるまで時間がかかることがあります。しばらくしてからもう一度接続してください。 ネットワークへの接続に失敗している可能性があります。「プロファイル設定」のAPN(接続先情報)の設定内容が、接続するネットワークの情報と一致することをご確認のうえ、しばらくしてからもう一度接続してください。または、本製品を再起動してください。それでも通信ができない場合は、お客さまセンターにお問い合わせください。	P.36 P.42, 57
3	無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続できない。	本製品の電源が入っていることを確認してください。 無線LAN(Wi-Fi®)端末の無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになっていることを確認してください。 暗号化方式をWEPで設定している場合は、正しいWEPキー(WEP Key)を入力しているか、確認してください。WEPキー(WEP Key)を忘れた場合は、本製品をリセットするか、「セキュリティ設定」を参照してWEPキー(WEP Key)を設定し直し、もう一度接続の操作を行ってください。 暗号化方式をWPAまたはWPA2で設定している場合は、正しい事前共有キー(WPA Key)を設定しているか、確認してください。事前共有キー(WPA Key)を忘れた場合は、「セキュリティ設定」を参照して事前共有キー(WPA Key)を設定し直し、もう一度接続の操作を行ってください。また、無線LAN(Wi-Fi®)端末によっては、WPA2/WPAの暗号化方式に対応していない場合があります。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書をご確認ください。 WPS機能で接続できない場合は、無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書などを参照してください。それでも接続できない場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を手動で設定する必要があります。 WPS用のPINコードが指定された無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する場合は、正しいPINコードを設定しているか、確認してください。 無線LAN(Wi-Fi®)端末によっては、「Wi-Fi暗号化強化(PMF)」をオンに設定していると接続できない場合があります。「Wi-Fi暗号化強化(PMF)」をオフに設定してからもう一度接続してください。	P.13 P.23, 26, 30, 31, 33 P.46 P.46 P.19 P.49 P.46
4	インターネットへの接続に失敗した。	サービスエリア内であることをご確認ください。 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところでもう一度接続してください。 時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。 Speed Wi-Fi HOME設定ツールを起動し、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。	P.11 P.11 — P.38

項番	こんなときは	ご確認ください	参照
5	通信がすぐに切れる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。 本製品とパソコンなどが、無線LAN(Wi-Fi [®])またはEthernetケーブル(試供品)により正しく接続されていることを確認してください。 無線LAN(Wi-Fi [®])端末によっては、一定時間データ通信が行われず通信機能が停止する場合があります。お使いの無線LAN(Wi-Fi [®])端末の取扱説明書をご確認ください。 本製品と無線LAN(Wi-Fi [®])端末を無線LAN(Wi-Fi [®])で接続している場合には、本製品を再起動してください。 本製品とパソコンをEthernetケーブル(試供品)で接続している場合には、本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください。 上記の操作を行っても接続できない場合は、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。	P.11 P.26、30、34 — P.57 P.34
6	通信速度が遅く感じる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。 接続先が混雑している場合があります。時間をおいて再度試してください。	P.11 —
7	データ通信量が表示されない、または正しく表示されない。	ネットワークと時刻情報を同期できなかった場合、累計(カウントを開始した日からの合計)のデータ通信量が表示されず、時刻情報を同期できず、当月または3日間のデータ通信量が表示されます。	P.44
8	Ethernetケーブル(試供品)で接続したパソコンが本製品を認識しない。	本製品がEthernetケーブル(試供品)で正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。 本製品をパソコンから一度取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。 ● Windows 10の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①「スタート」メニューを右クリックし、「ネットワークとインターネット」を選択します。 ②「ネットワークと共有センター」を選択し、次の画面を表示させます。  ③「アクティブなネットワークの表示」に、次のデバイスが表示されていることを確認してください。 SPWH_H33_XXXXXX ● Windows 8.1の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①「スタート」メニューを右クリックし、「ネットワークとインターネット」を選択します。 ②「ネットワークと共有センター」を選択し、「アクティブなネットワークの表示」に、次のデバイスが表示されていることを確認してください。 SPWH_H33_XXXXXX ● Windows 7の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークと共有センター」を選択します。 ②「アクティブなネットワークの表示」に、次のデバイスが表示されていることを確認してください。 SPWH_H33_XXXXXX ● Macの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①アップルメニューから「システム環境設定...」を選択します。 ②「システム環境設定...」の画面で、「ネットワーク」を選択します。 ③次の情報が表示されることを確認します。 SPWH_H33_XXXXXX	P.34 — — —
9	本製品の設定を購入時の状態に戻したい。	● 本体のボタン操作でリセットする場合 本製品の電源が入った状態で、RESETボタンを先の細いもので約2秒以上押し続けます。本製品をリセットすると、すべての設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。 ● Speed Wi-Fi HOME設定ツールから本製品をリセットする場合 ①Speed Wi-Fi HOME設定ツールを起動します。 ②「設定」→「システム設定」→「オールリセット」の順に選択します。 ③「オールリセット」→「OK」を選択すると、本製品が自動的に再起動し、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。	P.13 P.56

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎ 交換用携帯電話お届けサービスにて回収した今までお使いの本製品は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■ 補修用性能部品について

当社はこのSpeed Wi-Fi HOME L02本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよく読みいただき、大切に保管してください。

■ 故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認ください。

https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/

- ・ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ・ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- ・機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のある auの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ・auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ・機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用の auの端末に対する故障紛失サポートは自動的に退会となります。
- ・サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

周辺機器

使用可能な周辺機器は以下の通りです。

■ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ (HWS31PJA)

memo

◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
<http://onlineshop.au.com>

Speed Wi-Fi HOME設定ツール メニュー項目／設定項目一覧

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
接続			
接続ステータス		－	－
情報		－	－
設定			
WAN設定			
基本設定	通信モード設定	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア	ハイスピード
	ハイスピードプラスエリアモード規制	オン、オフ	オフ
通信モード自動切替	通信モード自動切替	オン、オフ	オフ
	カウント方式(固定)	－	－
	最大データ通信量設定	1～99	30GB
	通知設定	－	－
	HSに切替えるデータ通信量設定	10%/20%/・・・/90%/100%	90%
	現在のHS+Aデータ通信量	－	－
	時間切り替え	オン、オフ	オフ
接続設定	プロファイルリスト	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大10件	Internet
	MTU(Bytes)	1400～1440	1440
プロファイル設定	プロファイルリスト	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大10件 ^{*1}	Internet
	プロファイル名	最大32文字までの半角英数字と半角記号(「.」「_」「-」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)	(なし)
	APN(接続先情報)	最大32文字までの半角英数字と半角記号(「.」「_」「-」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)	(なし)
	ユーザー名	最大45文字までの半角英数字と半角記号(「.」「_」「-」「/」「@」)	(なし)
	パスワード	最大16文字までの半角英数字と半角記号(「!」「#」「\$」「%」「^」「&」「*」「+」「-」「_」「/」「:」「;」「<」「>」「=」「?」「@」「[」「]」「^」「_」)	(なし)
	認証タイプ	PAP、CHAP	CHAP
	IPタイプ	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6	IPv4&IPv6
PINコード管理	PINコード操作	有効にする、無効にする、変更する	(無効) ^{*2}
	現在のPINコード	4～8桁の数字	^{*3}
	入力可能回数	－	3
	新しいPINコード	4～8桁の数字	(なし)
	確認用PINコード	4～8桁の数字	(なし)
	PINロック解除コード	8桁の数字	^{*3}
通信量カウンター	データ通信量表示のクリア		－
	データ設定(1ヶ月)		
	カウントする通信モードの選択		
	ハイスピードモード	オン、オフ	オフ
	ハイスピードプラスエリアモード	オン、オフ	オン
	最大データ通信量設定	1～99	30GB
	カウント開始日	1～31	毎月1日
	通知設定	オン、オフ	オフ
	通知するデータ通信量設定	10%、20%、30%、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%	90%
	データ設定(3日)		
	カウントする通信モードの選択		
	ハイスピードモード	オン、オフ	オン
	ハイスピードプラスエリアモード	オン、オフ	オン
	最大データ通信量設定	1～30	10GB

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
LAN設定			
基本設定	異なる周波数間の通信	有効にする、無効にする	有効にする
	周波数 2.4GHz		
	Wi-Fiチャンネル	自動、1、2、…、13	自動
	IEEE802.11モード	802.11b、802.11g、802.11b/g、802.11b/g/n	802.11b/g/n
	Wi-Fiバンド幅	20MHz、20/40MHz	20MHz
	Wi-Fi機器の最大接続台数	1、2、…、20	20
	周波数 5GHz		
	Wi-Fiチャンネル	W52、W53、W56、自動	W52
	IEEE802.11モード	802.11n、802.11a、802.11ac、802.11a/n、802.11a/n/ac	802.11a/n/ac
	Wi-Fiバンド幅	20MHz、20/40MHz、自動	自動
	Wi-Fi機器の最大接続台数	1、2、…、20	20
セキュリティ設定 2.4G	SSID1 (WPA2/WPA)	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※4
	IEEE802.11認証	WPA/WPA2-PSK、WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
	WPA暗号化	AES、AES+TKIP	AES+TKIP
	WPA事前共有キー	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または64桁の16進数(0～9、A～F)	※4
	SSIDステルス	オン、オフ	オフ
	プライバシーセパレータ	オン、オフ	オフ
	Wi-Fi暗号化強化(PMF)	オン、オフ	オン
	5GHz優先機能	オン、オフ	オフ
	SSID2モジュール	オン、オフ	オフ
	SSID2(WEP)	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※4
	暗号化モード	WEP64、WEP128	WEP64
	WEPキー1～4	WEP64: 5文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または10桁の16進数(0～9、A～F) WEP128: 13文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または26桁の16進数(0～9、A～F)	※4
	現在のネットワークキー	1、2、3、4	1
	SSIDステルス	オン、オフ	オフ
	パスワードの表示	チェックあり、チェックなし	(チェックなし)
セキュリティ設定 5G	SSID1 (WPA2/WPA)	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※4
	IEEE802.11認証	WPA/WPA2-PSK、WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
	WPA暗号化	AES、AES+TKIP	AES+TKIP
	WPA事前共有キー	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または64桁の16進数(0～9、A～F)	※4
	SSIDステルス	オン、オフ	オフ
	プライバシーセパレータ	オン、オフ	オフ
	Wi-Fi暗号化強化(PMF)	オン、オフ	オン
	SSID2モジュール	オン、オフ	オフ
	SSID2(WEP)	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※4
	暗号化モード	WEP64、WEP128	WEP64
	WEPキー1～4	WEP64: 5文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または10桁の16進数(0～9、A～F) WEP128: 13文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または26桁の16進数(0～9、A～F)	※4
	現在のネットワークキー	1、2、3、4	1
	SSIDステルス	オン、オフ	オフ
	パスワードの表示	チェックあり、チェックなし	(チェックなし)
ゲストSSID設定	ゲストSSID	オン、オフ	オフ
	SSID	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※4
	セキュリティ	WPA/WPA2-PSK、WEP64、WEP128、None	WPA/WPA2-PSK
	パスワード	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または64桁の16進数(0～9、A～F)	(なし)
	WEPキー1～4	WEP64: 5文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または10桁の16進数(0～9、A～F) WEP128: 13文字の半角英数字と半角記号(「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[」「\」「]」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」は除く)、または26桁の16進数(0～9、A～F)	(なし)
	現在のネットワークキー	1、2、3、4	1
	有効期間	無制限、4時間、1日	4時間
WPS設定	WPS 周波数	2.4GHz、5GHz	2.4GHz
	WPS PIN コード	4桁または8桁の半角数字	(なし)
MACアドレスフィルタ	Wi-Fi MACフィルタ	オフ、許可、拒否	オフ
	MACアドレス	00～FFの6組の番号	(なし)
ファイアウォール設定			
ファイアウォールスイッチ	ファイアウォールの有効化	オン、オフ	オン
	LAN IPフィルタ	オン、オフ	オン
	WANポートping	オン、オフ	オン

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
DHCP設定	IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.100.1
	サブネットマスク	0～255の4組の番号	255.255.255.0
	DHCPサーバ	オン、オフ	オン
	開始IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.100.100
	終了IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.100.200
	DHCPリース期間(秒)	60～604800	604800
	DNS設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	プライマリDNS	0～255の4組の番号	(なし)
	セカンダリDNS	0～255の4組の番号	(なし)
	IPタイプ	IPv4、IPv6	IPv4
	プロトコル	TCP、UDP、両方	両方
	ステータス	オン、オフ	オフ
	IPタイプで「IPv4」を選択した場合		
	LAN IPアドレス	0～255の4組の番号とワイルドカードとして「*」	(なし)
	WAN IPアドレス	0～255の4組の番号とワイルドカードとして「*」	(なし)
	IPタイプで「IPv6」を選択した場合		
	LAN IPアドレス	0000～FFFFの8組の番号	(なし)
	LANプレフィックス長	0～128	(なし)
	WAN IPアドレス	0000～FFFFの8組の番号	(なし)
	WANプレフィックス長	0～128	(なし)
	LANポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
	WANポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
	種別	拒否	拒否
	方向	OUT	OUT
ポートマッピング	名前	最大30文字までの半角英数字と半角記号(「 <code>！</code> 」「 <code>”</code> 」「 <code>’</code> 」「 <code>（</code> 」「 <code>）</code> 」「 <code>＊</code> 」「 <code>／</code> 」「 <code>％</code> 」「 <code>+</code> 」「 <code>></code> 」「 <code><</code> 」「 <code>？</code> 」「 <code>」</code> 」は除く)	(なし)
	ステータス	オン、オフ	オフ
	共通ポート	(リスト項目)	(選択)
	WANポート	1～65535(68, 7547を除く)	(なし)
	LANポート	1～65535	(なし)
	LAN IPアドレス	0～255の4組の番号	(なし)
	プロトコル	TCP、UDP、両方	両方
特定アプリケーション	名前	最大30文字までの半角英数字、半角記号(「 <code>！</code> 」「 <code>”</code> 」「 <code>’</code> 」「 <code>（</code> 」「 <code>）</code> 」「 <code>＊</code> 」「 <code>／</code> 」「 <code>％</code> 」「 <code>+</code> 」「 <code>></code> 」「 <code><</code> 」「 <code>？</code> 」「 <code>」</code> 」は除く)、「(半角スペース)」	(なし)
	ステータス	オン、オフ	オフ
	トリガーポート	1～65535	(なし)
	トリガープロトコル	両方、TCP、UDP	両方
	オープンポート	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
	オープンプロトコル	両方、TCP、UDP	両方
	共通ポート	(リスト項目)	(選択)
DMZ設定	DMZステータス	オン、オフ	オフ
	DMZ IPアドレス	0～255の4組の番号	192.168.100.200
UPnP設定	UPnPステータス	オン、オフ	オフ
SIP ALG設定	SIPポート	1～65535	8080
	SIP ALGを有効にする	チェックあり、チェックなし	(チェックなし)
LED 設定	常時点灯	オン、オフ、Statusランプのみオン	オン
	点灯時間	15秒、30秒、1分、2分	15秒
システム設定			
バックアップ&リストア	バックアップ	—	—
	リストア	—	—
オールリセット		—	—
再起動	再起動	—	—
	自動再起動設定	オン、オフ	オン
パスワード変更	現在のパスワード	5～15文字までの半角英数字と半角記号(「 <code>！</code> 」「 <code>”</code> 」「 <code>’</code> 」「 <code>（</code> 」「 <code>）</code> 」「 <code>＊</code> 」「 <code>／</code> 」「 <code>％</code> 」「 <code>+</code> 」「 <code>></code> 」「 <code><</code> 」「 <code>？</code> 」「 <code>」</code> 」は除く)	(IMEIの下5桁)
	新しいパスワード	5～15文字までの半角英数字と半角記号(「 <code>！</code> 」「 <code>”</code> 」「 <code>’</code> 」「 <code>（</code> 」「 <code>）</code> 」「 <code>＊</code> 」「 <code>／</code> 」「 <code>％</code> 」「 <code>+</code> 」「 <code>></code> 」「 <code><</code> 」「 <code>？</code> 」「 <code>」</code> 」は除く)	(なし)
	新しいパスワード(確認用)	5～15文字までの半角英数字と半角記号(「 <code>！</code> 」「 <code>”</code> 」「 <code>’</code> 」「 <code>（</code> 」「 <code>）</code> 」「 <code>＊</code> 」「 <code>／</code> 」「 <code>％</code> 」「 <code>+</code> 」「 <code>></code> 」「 <code><</code> 」「 <code>？</code> 」「 <code>」</code> 」は除く)	(なし)
システムログ	表示タイプ	すべて、ユーザー、システム、セキュリティ	すべて
	表示レベル	警告、注意、情報	警告
オンラインアップデート			
アップデートチェック		オン、オフ	オン
自動アップデート		オン、オフ	オフ
アップデート適用時のログイン確認		オン、オフ	オン
アップデート		—	—

※1：お買い上げ時に設定されているプロファイルが表示されますが、編集／削除はできません。

※2：お買い上げ時は無効に設定されており、PINコード操作欄は「有効にする」と表示されています。

※3：お買い上げ時のPINコードとPINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.8)を参照してください。

※4：お買い上げ時のSSID1のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)については、同梱のWi-Fi初期設定シール、または本製品の底面を参照してください。SSID2のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の確認方法については、「SSID2 (WEP)を設定する場合」(▶P.47)を参照してください。ゲストSSIDのネットワーク名の確認方法については、「ゲストSSID設定」(▶P.48)を参照してください。

主な仕様

■ 本体

外形寸法	約178(H)×93(W)×93(D)mm
質量	約436g
LANポート	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T
電源	AC100V～240V 50/60Hz DC12V
消費電力	最大24W
環境条件	動作周囲温度範囲: 0℃～40℃ 動作周囲湿度範囲: 5%～90%

■ WAN

通信方式	WiMAX 2+, LTE
------	---------------

■ LAN

通信方式	Wi-Fi(IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠)
対応周波数	2.4GHz(1～13ch*)、5GHz(W52、W53、W56)
Wi-Fiセキュリティ方式	WEP: 64bit/128bit WPA-PSK: AES/AES+TKIP WPA2-PSK: AES/AES+TKIP
最大同時接続数	無線LAN(Wi-Fi®): 最大40台(2.4GHz帯/5GHz帯で各20台)/LAN: 最大2台

※: お買い上げ時の設定では1～11chのいずれかが自動で選択されます。12、13chを使用する場合は、「LAN設定」(▶P.45)で設定してください。

■ Speed Wi-Fi HOME ACアダプタ

入力	AC100～240V 0.8A 50/60Hz
出力	DC12V 2A
外形寸法	約46(W)×33(H)×91(D)mm(コード長さ約2.2m)
質量	約215g
環境条件	動作周囲温度範囲: 0℃～40℃ 動作周囲湿度範囲: 5%～90%

■ Ethernetケーブル(試供品)

コード長さ	約1.5m
質量	約32g

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

用語集

CHAP(Challenge Handshake Authentication Protocol)

ネットワーク上で利用される認証方式の1つです。認証情報のやりとりが暗号化されるため、高い安全性を有します。

DFS(Dynamic Frequency Selection)

無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯のW56使用時に、気象レーダーなどの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する機能です。

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

IPネットワークに接続する端末に対してIPアドレスを自動的に割り当て、接続に必要な情報を提供する機能です。接続のための設定が簡単になる反面、接続のたびにIPアドレスが変わるため、IPアドレスで端末を特定することができなくなります。

DMZ(DeMilitarized Zone)

ファイアウォールによって内部ネットワークから隔離された領域で、非武装地帯を意味します。DMZホストに設定した端末で、外部に対してすべてのポートがオープンされるため、特別な設定をしなくてもサーバアプリケーションやオンラインゲームを利用することができます。

DNS(Domain Name System)

IPアドレスとドメイン名を関連付け、相互に置き換えるシステムです。

IEEE802.11a

無線LAN(Wi-Fi®)の規格の1つです。5GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で54Mbps(理論値)です。

IEEE802.11ac

無線LAN(Wi-Fi®)の規格の1つです。5GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で6.9Gbps(理論値)です。

IEEE802.11b

無線LAN(Wi-Fi®)の規格の1つです。2.4GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で11Mbps(理論値)です。

IEEE802.11g

無線LAN(Wi-Fi®)の規格の1つです。2.4GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で54Mbps(理論値)です。

IEEE802.11n

無線LAN(Wi-Fi®)の規格の1つです。2.4GHz/5GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で600Mbps(理論値)です。

IMEI(International Mobile Equipment Identity)

携帯電話やデータ通信端末に記録された端末識別番号です。

IMSI(International Mobile Subscriber Identity)

ICカードなどに記録された加入者識別番号です。

IPアドレス

ネットワーク上のコンピュータや通信機器を識別するための番号です。

LAN(Local Area Network)

家庭やオフィスなどに構築された、複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なネットワークです。

LTE(Long Term Evolution)

国際標準化団体の3GPPが仕様を作成した移動体通信方式です。CDMA方式(3G)と比較して高速なデータ通信が可能です。

MACアドレス(Media Access Controlアドレス)

すべてのネットワーク機器に対して固有に割り当てられた6バイト長のID番号のことです。一般的にMACアドレスは、16進数で「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように表現されます。

MTU(Maximum Transmission Unit)

ネットワーク上で、1回の転送で送信できるデータの最大値のことをいいます。接続するごとに送信側がその値を設定でき、送信側が受信側より大きいMTUを持っている場合には、受信側のMTUに従ってデータを再分割して送信します。

PAP>Password Authentication Protocol)

ネットワーク上で利用される認証方式の一つです。パスワードによってユーザを識別します。PPPIによるダイヤルアップ接続の際に利用されます。

PIN(Personal Identification Number)

本製品を使うために必要な暗証番号のことです。個人識別番号を意味します。本製品が紛失・盗難などにあった場合でも、第三者が使えないようにできます。

PMF(Protected Management Frames)

無線LAN(Wi-Fi[®])管理フレームの一部を保護する機能です。

SSID(Service Set Identifier)

無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイントを識別するための名前のことです。通信可能な範囲に無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイントが複数ある場合、接続するアクセスポイントを指定するときに利用します。

UPnP(Universal Plug and Play)

様々なネットワーク機器を、ネットワークに接続するだけで利用できるようにするための技術仕様のことです。UPnPの機能により、LAN側端末のアプリケーションが、ルータに割り当てられているグローバルIPアドレスを取得できるため、データ中にグローバルIPアドレスを設定する特殊な機能を利用できるようになります。

WAN(Wide Area Network)

地理的に離れた地点にあるパソコン同士を電話回線や専用回線で接続するネットワークです。LAN(Local Area Network)の対義語としてよく用いられます。一般的には、インターネットとほぼ同義の言葉として使われます。

WEP(Wired Equivalent Privacy)

無線通信で使われる初期の暗号化規格です。5文字または13文字の共有キーを使用する暗号化方式が採用されています。

Wi-Fi(Wireless Fidelity)

一般に、IEEE802.11シリーズの無線LAN(Wi-Fi[®])の規格のことを言います。「Wi-Fi」の名称は、業界団体であるWi-Fi Allianceが認定した商品であることを示すもので、製造メーカーが異なっても、相互接続できることを表しています。

WiMAX 2+

WiMAX Release 2.1規格に基づく次世代高速モバイルデータ通信サービスです。TD-LTEと互換性を持つとともに、WiMAX(802.11e)とのシームレスな接続を維持できます。将来的には下り1Gbpsを超える高速化が予定されています。日本国内ではUQコミュニケーションズ株式会社がサービスを提供します。

WPA2/WPA(Wi-Fi Protected Access 2 Pre-Shared Key/Wi-Fi Protected Access)

WEPを改良した暗号化規格で、あらかじめ設定した事前共有キー(WPA Key)で認証後は、自動的に生成された暗号化キーが使用されます。また、長い暗号化キーをサポートするAES(Advanced Encryption Standard)と暗号化キーを動的に変更するTKIP(Temporal Key Integrity Protocol)という2つの暗号化方式を利用して、より安全な通信を行うことができます。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)

無線LAN(Wi-Fi[®])の接続やセキュリティ設定を簡単にできるようにする機能です。プッシュボタン方式やPINコード方式など、複数の接続方式が利用できます。

WPS PIN

WPSに対応した無線LAN(Wi-Fi[®])端末が発行する数桁の数字です。WPSのPINコード方式で設定するとき、この数字を本製品に入力することで、安全に無線LAN(Wi-Fi[®])設定をすることができます。

ファイアウォール

インターネットなどの外部ネットワークから内部ネットワーク(LAN)に対するアクセスを監視し、不正な侵入を防止するためのシステムのことです。

プロフィール

複数のインターネット接続設定を管理するため、電話番号やユーザー名、パスワードなどの設定情報を1つにまとめたものをプロフィールと呼びます。

ポート番号

インターネット上の通信で、データを受け取るアプリケーションやサービスを指定するための番号のことです。0～65535の番号を指定でき、一般的な用途が決められているウェルノウンポート番号(0～1023)、特定のアプリケーションなどが使用するレジスタードポート番号(1024～49151)、自由に利用できるダイナミック/プライベートポート番号(49152～65535)の3種類に区分されます。

無線LAN(WLAN)

LANケーブルを無線に置き換えたネットワークです。無線通信を利用して、パソコンやゲーム機などの無線LAN(Wi-Fi[®])端末(子機)と無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイント(親機)を接続します。本製品は無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイントとして機能します。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] Operating Systemです。
- Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- OperaはOpera Software ASAの商標または登録商標です。Operaに関する詳細については、<http://jp.opera.com/> をご覧ください。
- Mac、Macintosh、Safari、iPhone、iPod、iPod touch、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi CERTIFIED[®]、WPA[™]、WPA2[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Nintendo Switch、ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。
- 「PlayStation」、「PS4」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- HUAWEI は、中国HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。
- その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。本文中では、®マーク、TMマークは省略している場合があります。

GPL書面によるオファー

本製品はGNU General Public License (Version2)が適用されたフリーソフトウェアを使用しています。詳細は、下記のホームページをご参照ください。

http://consumer.huawei.com/minisite/copyright_notice/

または、mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

個人情報保護方針

HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の個人情報保護方針について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記ホームページをご参照ください。

<http://consumer.huawei.com/minisite/legal/privacy/statement.htm?country=JP&language=ja-JP>

索引

数字／アルファベット

5GHz帯の使用について	18
CHAP	65
DFS機能	18
DFSチェック	18
DHCP	65
DHCP設定	50
DMZ	65
DMZ設定	54
DNS	65
「HUAWEI HiLink」アプリ	16, 21, 23
IEEE802.11a/b/g/n/ac	65
IPアドレス	65
LAN	66
LAN IPフィルタ	51
LAN接続	
Mac	34
Windows/パソコン	34
LAN設定	45
LED設定	55
MACアドレス	66
MACアドレスフィルタ	49
MTU	66
PINコード管理	43
PMF	66
QRコード表示機能	21, 23
SIP ALG設定	55
Speed Wi-Fi HOME設定ツール	38
SSID	66
UPnP設定	54
WAN	66
WAN設定	41
WEP	66
WEPキー(WEP Key)	18
Wi-Fi	66
WPA2/WPA	66
WPS PIN	66
WPS設定	49

あ

アフターサービス	61
オールリセット	56
主な仕様	65
オンラインアップデート	58

か

基本設定(LAN設定)	45
基本設定(WAN設定)	41
ゲストSSID設定	48
工場出荷時設定	13

さ

再起動	57
システム設定	56
システムログ	57
事前共有キー(WPA Key)	18
周辺機器	62
情報	40
セキュリティ設定	46
接続ステータス	40
接続設定(WAN設定)	42
設定項目一覧	62

た

通信モード自動切替	41
通信量カウンター	44
電源を入れる／切る	13
特定アプリケーション	53

な

ネットワーク名(SSID)	
SSID1	18
SSID2	18

は

パスワード変更	57
バックアップ&リストア	56
ファイアウォール	66
ファイアウォールスイッチ	50
ファイアウォール設定	50
プロファイル	66
プロファイル設定	42
ポート番号	66
ポートマッピング	52

ま

無線LAN(WLAN)	66
無線LAN接続	18
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini/iPad Pro	23
Mac	30
Nintendo Switch	30
PlayStation®4	33
PlayStation®Vita	32
Windows/パソコン	26
WPS対応無線LAN(Wi-Fi®)端末	19
スマートフォン	21
ニンテンドー3DSシリーズ	31
メニュー項目一覧	62

au のお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

My au	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://www.au.com/support/	EZ ボタン>トップメニューまたは au ポータルトップ>My au
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「My au」で検索	—

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマホ/ケータイ）	au 携帯電話以外 / 一般電話	左記番号がつかない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	 0077-7-111	 0120-977-033 [沖縄の方は]  0120-977-699
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	 0077-7-113	 0120-925-314

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 電話番号」と「暗証番号」が必要です。

※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマートフォン/ケータイ）/ 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用
するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・
充電器を、ブランド・メーカーを問わず  マークのあるお店
で回収し、リサイクルを行っています。